

総合 枕崎市 防災マップ

ほ ぞん ぼん
保存版



鹿児島県 枕崎市
Makurazaki City



知ること。学ぶこと。備えること。

大雨・洪水・土砂・地震・津波・高潮



津波／高潮



洪水／内水氾濫



土石流



崖崩れ・地すべり



大規模な火事

【家族・関係者連絡先】 まずは、下の表に記入しましょう。

氏名	連絡先
	() -
	() -
	() -
	() -
	() -

枕崎市役所

〒898-8501

鹿児島県枕崎市千代田町 27 番地

TEL 0993-72-1111 (代表)

FAX 0993-72-9436

目次

はじめに

総合防災マップの使い方	2
-------------	---

施設一覧 3～4ページ

第一避難所・第二避難所	3
一時自主避難所／地震・津波一時避難場所	4

外国語編 5～7ページ

災害等関連情報	Disaster-related information	Thông tin liên quan đến thiên tai
	災害相关信息	재해 등 관련 정보

知識編 8～12ページ

大雨・洪水防災について	
台風の大きさと強さ／雨の強さと降り方	8
土砂災害の種類／知っておこう!3つのポイント	9
地震災害について	10
地震のメカニズム	
津波・高潮災害について	11
津波のメカニズム	
火災について	12
火災発生時の3原則	

心得編 13～18ページ

避難について	13
避難時の行動と心得／要配慮者への支援	
土砂災害等の情報入手方法	14
大雨、洪水災害について	15
浸水の目安と心得／被害想定	
土砂災害について	16
土砂災害の前兆／覚えておこう!3つのポイント	
地震災害について	17
地震対応／地震速報	
津波、高潮災害について	18
津波警報・注意報の種類／津波予報区とは	

準備編 19～24ページ

風水害・地震について	19
強風・暴風前の備え／地震の備え	
持ち出し品について	20
備蓄／非常食／ポイント	
避難について	21
避難情報	
AEDの使用方法・心肺蘇生方法	22
自主防災について	23
家族の防災会議について	24

準備編 19～24ページ

防災マップ	25～56
56ページに防災マップの凡例	
中島ため池浸水深マップ	57～58

総合防災マップの使い方

この総合防災マップは、さまざまな災害における人的被害を軽減することを目的として、みなさんが安全な行動をとるために必要な情報を掲載しています。

みなさんが安全に避難するために必要となる情報として、鹿児島県がシミュレーションした浸水の範囲や深さ（浸水想定区域図）や土砂災害（土砂災害警戒区域）また、避難所、避難場所などの情報が記載されています。

なお、地図に示した区域以外の場所でも、場合によっては浸水や土砂災害の発生することがありますので、十分注意して行動してください。



まず、自宅の位置を確認しましょう。

災害が想定される位置を確認しましょう。自宅がある場所は、どのような災害が予想されるのかを、地図をみて確認しましょう。



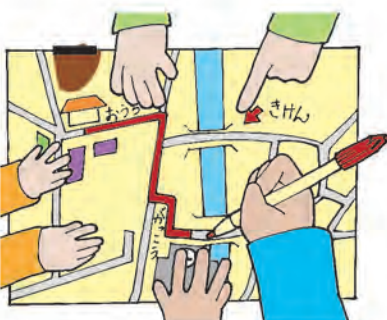
次に、自宅付近の避難所を確認しましょう。

自宅に一番近い災害に応じた避難所を地図で確認しましょう。



災害想定区域を避け、避難経路を決めましょう。

避難経路を地図で確認し、土砂災害や津波などの災害が想定される場所を避けて避難できるようにしましょう。



実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

避難所

避難所を第一避難所と第二避難所とに分類し、台風や大雨（洪水）などの予想される時は第一避難所、地震などの大災害や突発的災害、あるいは第一避難所に収容しきれない場合は、第二避難所を開設します。

避難所については、総務課危機管理対策係までお問い合わせください。

第一避難所（台風・大雨・洪水等）

	避難地域	収容人員	位置	電話	防災マップ	
					図面番号	ページ
健康センター	枕崎地区	200	日之出町	0993-72-7176	10	44
市民会館	枕崎地区	200	千代田町	0993-72-2221	10	44
松之尾センター	枕崎地区	100	汐見町	0993-72-9289	10・14	43・51
立神センター	立神地区	100	大塚南町	0993-72-1693	13	50
別府センター	別府地区	100	別府東町	0993-76-2010	12	47
城山センター	桜山地区	100	桜山町	0993-72-2267	10	43
妙見センター	枕崎・桜山地区	100	寿町	0993-73-1727	10	44
金山センター	金山地区	100	田布川町	0993-72-9690	6	35

第二避難所（地震・突発的災害及び第一避難所に収容しきれない場合）

	避難地域	収容人員	位置	電話	防災マップ	
					図面番号	ページ
枕崎小学校	枕崎地区	2,000	千代田町	0993-72-9881	10	44
枕崎中学校	枕崎地区	1,600	桜木町	0993-72-1235	10	43
桜山小学校	桜山地区	700	桜山町	0993-72-9883	10	43
桜山中学校	桜山地区	700	桜山町	0993-72-0304	10	43
枕崎高校	桜山地区	700	岩崎町	0993-72-0217	10	43
別府小学校	別府地区	700	別府西町	0993-76-3452	11・12	46・47
別府中学校	別府地区	700	別府東町	0993-76-2012	12	47
立神小学校	立神地区	700	中央町	0993-72-9885	9・10	42・43
立神中学校	立神地区	700	大塚北町	0993-72-6888	9・10	42・43
旧金山小学校	金山地区	300	金山町	-	6	35

一時自主避難所

一時自主避難場所 (台風・大雨・洪水等)

一時自主避難場所	避難対象地域	一時自主避難場所	避難対象地域	一時自主避難場所	避難対象地域
田布川公民館	田布川	湯穴集落内3ヶ所	湯穴	木原公民館	木原
金山公民館	金山	木場公民館	木場	東白沢公民館	東白沢
金山住宅3階	金山住宅	岩崎公民館	岩崎	西白沢公民館	西白沢
木口屋公民館	木口屋	牧園公民館	牧園	板敷公民館	板敷
山口公民館	山口	大塚公民館	大塚	俵積田公民館	俵積田
小園公民館	小園	大堀公民館	大堀	中原公民館	中原
宇都公民館	宇都	下野原公民館	下野原	茅野公民館	茅野
松下公民館	松下	田中公民館	田中	小塚公民館	小塚
下園公民館	下園	田畑公民館	田畑	松崎公民館	松崎
瀬戸口公民館	瀬戸口	火の神保育園	塩屋	下山公民館	下山
中村公民館	中村	火之神集会所	火之神	駒水公民館	駒水
宝寿庵公民館	宝寿庵	小江平公民館	桜木町	真茅公民館	真茅
箆原公民館	箆原	上釜会館	高見町	山崎公民館	山崎
上竹中公民館	上竹中	中一公民館	港町		
道野公民館	道野	新町公民館	新町		

地震・津波一時避難場所

地震・津波時一時避難場所	標高(m)	地震・津波時一時避難場所	標高(m)	地震・津波時一時避難場所	標高(m)
旧金山小学校校庭	30	みんな元気になーれ広場(西堀)	29	大堀公民館	11
田布川公民館	24	箆原公民館広場	33	横石グラウンド(塩屋)	15
金山住宅3階	30	水流集落内の高台	20	市民会館(国光公園)	22
桜山中学校校庭	15	鳥越墓地の駐車場(山下)	21	片平山公園グラウンド	23
妙見グラウンド	31	湯穴集落内の高台	30	松之尾公園	15
山口公民館	26	木場公民館広場	18	遠見番緑地	26
小園グラウンド	23	通山集落内の高台	30	小江平公民館	13
花見ヶ丘(宇都)	40	岩崎公民館運動公園	22	上釜会館	14
松下運動広場	30	今給黎建設敷地(富岡)	22	木原公民館	22
下園グラウンド	26	立神中学校校庭	20	枕崎ヘリポート	52
瀬戸口公民館	18	牧園公民館	36	ウェルフェア九州病院駐車場	31
宝寿庵公民館	15	大塚公民館	21		

※避難場所が学校の場合は、校庭を一時避難地、体育館を避難場所として使用します。

※避難者が多数に上がり収容できないときに限り教室を使用します。

身を守るためには、早期避難を心がけてください

避難とは、

避難場所に避難することを指している訳ではありません。

身を守る為に「**安全な場所に身を寄せる**」ことが一番重要で、

危険を感じたら自主的に行動することが大切です。



避難情報

Evacuation information THÔNG TIN LÁNH NẠN
疏散信息 피난 정보

避難ルートを歩いてみよう

Let's follow the evacuation route Hãy đi thử tuyến đường sơ tán
请实际勘察避难路线。 피난 경로를 걸어 보자

実際にまちを歩いて「防災マップ」を作ると、災害がおきた場合に「あそこは危険」とか、「避難のときはあの道を通ろう」といった具体的なイメージをすることができます。

災害時に家族全員が安全に避難できるよう、皆さんで楽しみながら避難ルートを歩いてみてはいかがでしょうか。

When you walk around town and make a disaster prevention map for yourself, you can get a specific image, such as what areas are risky or what route is suitable for evacuation in the event of a disaster.

Why not get everyone involved in trying out the evacuation route so that every family member can evacuate safely in the event of a disaster?

Nếu bạn đi quanh khu phố và tạo ra sơ đồ "Phòng chống thiên tai", thì có thể hình dung ra hình ảnh cụ thể như là "Nơi đó thì nguy hiểm" hay là "Hãy đi theo con đường đó khi sơ tán" trong trường hợp có thiên tai xảy ra. Bạn có muốn đi thử theo tuyến đường lánh nạn trong khi vui mừng rằng cả gia đình sẽ sơ tán an toàn khi có tai họa xảy ra?

如果实际走过并事先做好“防灾地图”，发生灾害时就能够具体想象“那里很危险”、“避难时要走那条路”等等。灾害时为了全家安全避难，大家不妨试着走一走避难路线吧。

실제로 거리를 걸어 보고 '방재 지도' 를 만들면 재해가 발생한 경우 '저곳은 위험하다' 거나 '피난할 때는 저 길을 이용하자' 와 같은 구체적인 이미지를 그려볼 수가 있습니다.

재해 시에 가족 전원이 안전하게 피난할 수 있도록 함께 즐기면서 피난 경로를 걸어 보는 건 어떨습니까?

緊急時の電話連絡

Emergency calls Điện thoại liên lạc khi khẩn cấp
緊急时的电话联络 긴급 시 전화 연락

119

消防署につながります。
火事・ケガ・病院

110

警察署につながります。
事故・事件

This number connects you to the fire station.
Fires/injuries/hospitals

Gọi **119** sẽ kết nối tới SỞ CỨU HỎA trong trường hợp có HỎA HOẠN, BỊ THƯƠNG, CẦN CHUYỂN NGƯỜI ĐẾN BỆNH VIỆN.

拨打消防署电话
火灾、受伤、送医

소방서로 연결됩니다.
화재, 부상, 병원

This number connects you to the police station.
Accidents/incidents

Gọi **110** sẽ kết nối đến SỞ CẢNH SÁT trong trường hợp có TAI NẠN hay VỤ ÁN.

拨打警察署电话
事故、案件

경찰서로 연결됩니다.
사고, 사건

共通事項

Things to Note Yêu cầu chung
共同注意事項 공통 사항

- ※緊急の場合のみ、電話するようにしましょう。
- ※日本語での受け答えになります。
- ※自分のいる住所や目印を伝えましょう。



- *Call only in emergencies.
- *Calls are taken in Japanese only.
- *Tell the call handler your location and landmarks.

- ※ Chỉ gọi điện thoại đến hai số trên trong trường hợp khẩn cấp.
- ※ Chỉ nhận cuộc gọi và trả lời bằng tiếng Nhật.
- ※ Hãy truyền đạt địa chỉ nơi bạn sống hoặc những dấu hiệu giúp nhận biết nơi bạn đang có mặt.

- ※限緊急情况时才可拨打电话。
- ※电话接待语言仅为日语。
- ※请告知所在地址或明显的标志物。

- ※긴급한 경우에만 전화하도록 합니다.
- ※일본어로만 대응 가능합니다.
- ※본인이 있는 주소나 표시가 될 만한 것을 알려 줍시다.

消防署・警察署への電話のかけ方

Guide to calling the fire station/police station Cách gọi điện thoại đến Sở cứu hỏa hoặc Sở cảnh sát.
如何正确拨打消防署、警察署的电话 소방서경찰서로 전화하는 방법

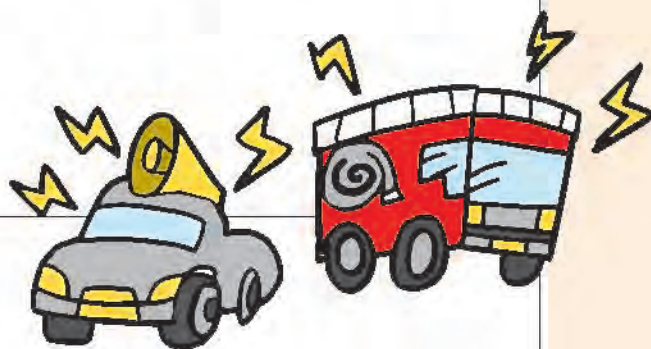
- ①「(火事・ケガ・事故)です。」
- ②「枕崎市〇〇〇丁目〇番〇号です。」
「〇〇公民館の近くです。」 ※目印になるものを伝えてください。
- ③「〇〇が(燃えています・ケガしています・事故です)」
- ④「私の名前は〇〇です。電話は〇〇-〇〇〇〇です。」



1. "There has been a fire/an injury/an accident."
2. "I am at x-x-x, Makurazaki."
"I am near the xx Community Center. "
*Let the call handler know of any landmark.
3. "XX is on fire/injured/in an accident) "
4. "My name is xx. My number is xx-xxxx."

- ①“Hỏa hoạn・Bị thương・Tai nạn” (かじです・けがです・じこです。)
- ②“Ở đây là Thành phố Makurazaki, Phường, Số khu phố, Số nhà” (まくらざきし ちょうめ、..... ばんち、..... ぢう です。)
- “Gần nhà văn hóa công cộng....”
(... こうみんかんのちかくです。)
- ※Hãy cho biết những dấu hiệu giúp nhận biết nơi đó.

- ③“Cái gì đó (đang cháy・đang bị thương・bị tai nạn) (... がもえています。 がけがしています。じこです。)
- ④Tên tôi là Số điện thoại của tôi là (わたしのなまえは..... です。でんわは..... です。)



- ①“发生了(火灾 / 受伤 / 意外事故).”
- ②“这里是枕崎市〇〇〇丁目〇番〇号。”
“这里是〇〇公民馆附近。”
※请告知明显的标志物。
- ③“〇〇在燃烧 / 〇〇受伤了 / 发生了事故。”
- ④“我的名字是〇〇, 电话号码是 〇〇-〇〇〇〇”。

- ①“(화재부상사고)입니다.”
- ②“마쿠라자키시 〇〇〇초메 〇번 〇호입니다.”
“〇〇 공민관 부근입니다.”
※표시가 될 만한 것을 알려 주십시오.
- ③“〇〇에 (화재가 났어요, 부상을 당했어요, 사고가 났어요)”
- ④“제 이름은 〇〇입니다. 전화번호는 〇〇-〇〇〇〇입니다.”

災害時によく聞く日本語

身の安全を確保(みのあんぜんをかくほ)	ジブン ミ マモ 自分の身を守る
Ensure safety	Protect yourself
Bảo đảm an toàn cho bản thân	Giữ gìn an toàn cho bản thân mình
確保自身安全	保护自己
신체 안전을 확보(미노안젠오카쿠호)	자신의 몸을 보호한다
誘導(ゆうどう)	ト (人) その場所に行くことができるように教えること
Guide	Guide people how to reach their destination.
Nguy hiểm	Có nguy hiểm, chú ý cẩn thận
引导	引导他人如何找到自己的所在位置
유도(유도)	(사람이) 그 장소로 갈 수 있도록 가르쳐 주는 것
危険(きけん)	あぶない、気を付けて
Hazards	Watch out, take care.
Nguy hiểm	Có nguy hiểm, chú ý cẩn thận
危險	危險! 小心!
위험(기けん)	위험하니까 조심하세요
警報(けいほう)	アメ カゼ ツナミ アブ 雨、風、津波が「とても危ない」というお知らせ (〇〇警報)
Alarms	Alarms that warn against the dangers posed by the rain, wind, and tsunami. (xx alarm)
Cảnh báo	Thông báo có nguy hiểm lớn về mưa, gió, sóng thần. (Cảnh báo về.....)
警報	告知暴雨、大风、海啸危险的通知 (〇〇警報)
경보(게이호)	비, 바람, 쓰나미가 '대단히 위험하다'는 알림(〇〇 경보)
注意報(ちゅういほう)	アメ カゼ ツナ미 アブ 雨、風、津波が「とても危ない」というお知らせ (〇〇注意報)
Warnings	Warnings against the dangers posed by the rain, wind, and tsunami. (xx warning)
Thông báo chú ý	Thông báo nguy cơ về mưa, gió, sóng thần. (Chú ý về...)
注意報	告知暴雨、大风、海啸危险的通知 (〇〇注意報)
주의보(주이호)	비, 바람, 쓰나미가 '대단히 위험하다'는 알림(〇〇 주의보)
避難(ひなん)	ニ パシヨ アンゼン 逃げる。その場所から安全なところへ行くこと
Evacuation	To escape. To go to a safer place.
Sơ tán	Chạy tránh nạn. Đi đến nơi an toàn từ chỗ đó
避难	快逃。尽快逃往安全的地方
피난(히난)	대피할 것. 그 장소에서 안전한 곳으로 가는 것
洪水(こうずい)	カワ 川があふれること
Flood	A river is overflowing.
Lũ lụt	Nước sông dâng cao
洪水	河川决堤倒灌
홍수(고즈이)	강이 범람하는 것
浸水(しんすい)	イ ナカ ミズ ハイ 家の中に水が入ります
Submergence	The inside of a house is immersed in water.
Nước ngập	Nước tràn vào nhà
淹水	家中进水
침수(신스이)	집안으로 물이 들어옵니다
通行禁止(つうこうきんし)	ト 通ってはいけません
No Through Road	The road is impassable.
Đường cấm lưu thông	Không được đi đường này
禁止通行	不得通行
통행금지(쓰코킨시)	지나가면 안 된다
がけ崩れ(がけくずれ)	ツチ オ がけの土がくずれて落ちます
Landslide	A mass of soil has fallen.
Đá lở	Đất đá bị sụp lở
悬崖塌陷	悬崖的土石等崩塌滑落
절벽 붕괴(가케쿠즈레)	절벽의 흩이 무너져 내립니다
余震(よしん)	オオ ジン アト オ ジン 大きな地震の後に起きる地震
Aftershocks	Tremors that follow a major earthquake.
Dư chấn	Động đất xảy ra sau khi có động đất lớn
余震	大地震后发生的地震
여진(요진)	대규모 지진 이후에 일어나는 지진

大雨・洪水防災について

台風の大きさと強さ

気象庁は、台風のおおよその勢力を示す目安として、風速をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。

「大きさ」は、強風域（風速 15m/ 秒以上）の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

また強風域の内側で、風速 25m/ 秒以上の風が吹いていると予想される範囲を「暴風域」と呼びます。

台風に関する情報では、これらを組み合わせて「大型で強い台風」のように呼びます。

■ 台風の大きさ

階級	風速 15m/ 秒以上の強風域の半径
大型 (大きい)	500km 以上～ 800km 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上

■ 台風の強さ

階級	最大風速
強い	33m/ 秒以上～ 44m/ 秒未満
非常に強い	44m/ 秒以上～ 54m/ 秒未満
猛烈な	54m/ 秒以上



大型、超大型の台風それぞれの大きさは、日本列島の大きさと比較すると左図のようになります。

雨の強さと降り方

やや強い雨

10~20mm
未満

強い雨

20~30mm
未満

激しい雨

30~50mm
未満

非常に激しい雨

50~80mm
未満

猛烈な雨

80mm
以上



地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら注意が必要です。



土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川ならはん濫、また、がけ崩れの心配もあります。



がけ崩れが起こりやすくなり危険地帯では避難の準備が必要です。道路規制が行われることがあります。



滝のように降り、傘は全く役に立たなくなります。土石流が起こりやすくなり、多くの災害が発生する可能性があります。



息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要です。

大雨・洪水災害について

土砂災害の種類



急ながけ地や山の斜面が突然崩れ落ちる現象を、斜面崩壊(がけ崩れ)といい、国内で最も件数の多い土砂災害です。

一瞬にして崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。このような被害を生じる恐れのある箇所を「急傾斜地崩壊危険箇所」といいます。



土石流とは、谷や斜面の土・石・砂が大雨による水とともに、一気に谷を流れ下る現象です。

スピードが速く破壊力も大きいので、大きな被害をもたらします。このような被害を生じる恐れのある溪流(渓谷や小川)を「土石流危険溪流」といいます。



粘土などの滑りやすい層の上にある斜面部が、しみ込んだ雨水等の影響などでゆっくり動きだす現象です。

一度に広い範囲が動くため、大きな被害をもたらします。このような被害を生じる恐れのある箇所を「地すべり危険箇所」といいます。

知っておこう！ 3のポイント

□住んでいる場所が「土砂災害危険箇所」かどうか確認する

自分の家が土砂災害危険箇所にあるかどうか確認しましょう。

※ただし、土砂災害危険箇所でなくても、付近に「がけ地」や「小さな沢」などがあれば注意が必要です。

□雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する

鹿児島県の砂防課などのホームページで確認できるほか、テレビやラジオの気象情報でも発表されます。

□土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する

土砂災害警戒情報が発表されたら、早めに近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。

土砂災害警戒区域

(通称:イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域で、警戒避難体制の整備を図ることを目的として指定します。

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、危険の周知や警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害(特別)警戒区域

(通称:レッドゾーン)

イエローゾーンの中でも建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域で、住宅等の新規立地の抑制等を目的として指定します。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制や建築物の構造規制等が行われます。

地震災害について

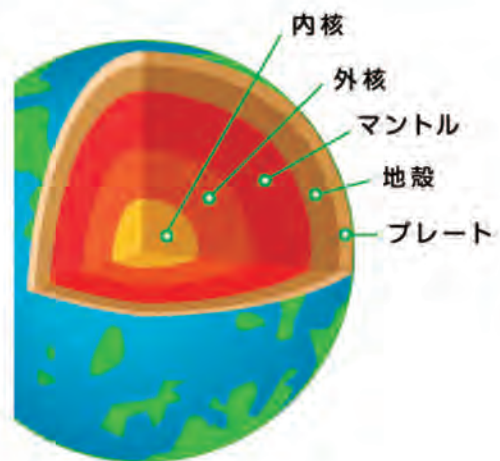
地震のメカニズム

プレートによって起きる地震

プレートとは地球の表面を覆う、厚さ数 10 ~ 200km 程度の岩石でできた層のこと。その層はいくつかのブロックに分割されていて、1年間に数 cm ずつ、ゆっくり移動しています。そして、プレートとプレートの境界上でそれぞれが押し合ったり跳ね上がったり、あるいはプレートの内部でずれを生じることで、地震が発生します。

日本には、このプレートが 4 つもあるため、多くの地震が発生するのです。

プレートによって起きる地震（海溝型地震）の規模や発生の可能性について詳しくはこちらをご参照ください。



プレートの動き



活断層によって起きる地震



プレート同士が押し合い続けていると、その表面にひびが入り、やがてずれが生じます。このずれを断層といい、今後も活動する可能性が高い断層を活断層と呼びます。

この活断層が上下に動くことで、地震が発生。日本には、この活断層が 2,000 か所くらいあるため、どこで地震が起きてもおかしくない状態にあるのです。

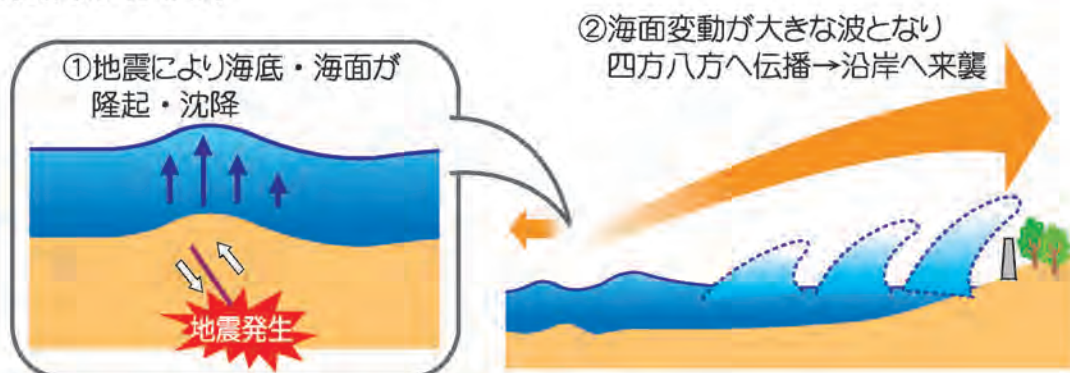
津波・高潮災害について

津波のメカニズム

津波の発生

海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものが津波です。

「津波の前には必ず潮が引く」という言い伝えがありますが、必ずしもそうではありません。地震が発生させた地下の断層の傾きや方向によっては、また、津波が発生した場所と海岸との位置関係によっては、潮が引くことなく最初に大きな波が海岸に押し寄せせる場合もあります。津波は引き波で始まるとは限らないのです。



津波の伝わる速さと高さ



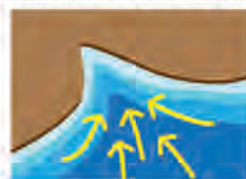
津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合いではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくとつれ、減速した波の前方部に後方部が追いつくことで、波高が高くなります。

水深が浅いところで遅くなるといっても、人が走って逃げ切れるものではありません。津波から命を守るためには、津波が海岸にやってくるのを見てから避難を始めたのでは間に合わないのです。海岸付近で地震の揺れを感じたら、または、津波警報が発表されたら、実際に津波が見えなくても、速やかに避難しましょう。

地形による津波の増幅

津波の高さは海岸付近の地形によって大きく変化します。さらに、津波が陸地を駆け上がる（遡上する）こともあります。岬の先端やV字型の湾の奥などの特殊な地形の場所では、波が集中するので、特に注意が必要です。津波は反射を繰り返すことで何回も押し寄せたり、複数の波が重なって著しく高い波となることもあります。このため、最初の波が一番大きいとは限らず、後で来襲する津波のほうが高くなることもあります。

地形による津波の増幅の例



V字型の湾で湾の奥にエネルギーが集中し、波高が高くなります。



岬の先端では、津波が海岸線に対して平行になろうとしてエネルギーが集中し、波高が高くなります。

火災について

出火の現場に居合わせたら、「通報」「初期消火」「避難」が大切です。出火直後なら「通報」と「初期消火」の優先順位が高くなりますが、そのために逃げ遅れては大変です。以下を参考に、あわてず冷静な判断を心がけましょう。

火災発生時の3原則

行動① 通報

大声で「火事だ!」と叫ぶ

- 大きな声で叫び、隣近所に知らせる。声が出ない場合は、非常ベルや音の出るものをたたく。
- どんなに小さな火事でも「119」番通報を。

行動② 初期消火

出火直後が勝負

- 火がまだ横に広がっているうちなら消火は可能。(炎が身長より低いを目安に)
- バケツの水や座ぶとんなど、身近なものを最大限に活用しましょう。

行動③ 避難

危険を感じたらすぐ避難

- 避難するときは燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断。
- 避難する目安は、天井に火が燃え移ったとき。

「119」番などへの緊急通報

緊急通報する場合は、慌てずに落ち着いて内容を伝えましょう。


【通報内容の例】

- 通報の種類(火事、救急、事故等)
- 場所(住所、目標物)
- 現場の状況
- 通報者の氏名、住所、電話番号
- 逃げ遅れの有無

火元別初期消火方法

ストーブ

消火器がない場合は、水にぬらした毛布などを手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断する。



電気機器

コンセントからプラグを抜くか、ブレーカーを切り、消火器で消火する。



コンロ(天ぷら油)

まずコンロの火を消す。水をかけるのは厳禁。消火器がない場合は、ぬらしたシーツやバスタオル(水が滴らないように軽く絞る)を手前からかぶせ、空気を遮断する。



消火器の操作法

- ① 安全ピンに指をかけ、上に引き抜く。
- ② ホースをはずして、火元に向ける。
- ③ レバーを強くにぎって、噴射する。



消火器の使い方

- ① 風上に回る。
- ② やや腰をおとして低く構える。
- ③ 熱や煙を避け、炎に近づき過ぎない。
- ④ 火を狙うのではなく、燃えている実体を狙ってホースはホウキを掃くようにする。

炎が天井に燃え移ったら、けっして自分で消しようと思わず、迷わずすぐに避難してください。

高層ビル火災における避難

上の階から出火した場合は、階段を使って下へ逃げます。下の階から出火した場合は、なるべく外階段から逃げます。下へ逃げられないときは、屋上の風上側で救助を待ちましょう。エレベーターは絶対使わないように。

本当に恐ろしいのは煙です!

煙は一酸化炭素などの有毒ガスを含んでいるため、吸い込むと中毒などにより命を落とす危険性があります。万が一、火災に巻き込まれた場合には、下記のポイントに気をつけながら避難してください。


- ぬらしたタオルやハンカチなどで、口と鼻をおおう。
- できるだけ姿勢を低くする。
- 階段では、はったまま後ろ向きに下りる。
- 視界が悪い時は壁づたいに避難する。



住宅用火災警報器の点検をしましょう

～正常に動作するか、定期的な点検が必要です～

- **点検方法**
ボタンを押すか、ひもを引いて正常に鳴るか確認して下さい。
- **音が鳴らない場合**
「電池切れ」か「機械本体の劣化」の可能性があります。
※機械本体は10年で劣化します。設置後10年経過したら交換をお勧めします。



避難について

避難時の行動と心得

正確な情報収集と早めの行動を心がけましょう。

テレビ・ラジオ・インターネットで最新の気象情報や避難情報などの災害情報を入手しましょう。危険を感じたら早めの行動を心がけましょう。火元等の確認も忘れずに。



お年寄りなどの避難に協力をしましょう。

お年寄りや子供、病人、障がいのある人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病人、障がいのある人などの避難に協力しましょう。



動きやすい服装、2人以上での避難をしましょう。

避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。その際には、さぐり棒(杖など)を持ち、側溝や排水路、マンホールに転落しないように注意しましょう。



避難の呼びかけに注意しましょう。

危険が予想される状況となった場合には、市役所や消防団などから避難の呼びかけをすることがあります。避難の呼びかけがあった場合には、それに従いましょう。



要配慮者への支援

※要配慮者とは、高齢者・障がい者・乳幼児等、災害時において特に配慮を要する方です。災害に対して、高齢者や障がいのある方などは、

- 身に迫った危険を察知しにくい
- 助けを求めたり、助けてほしい内容を伝えにくい
- すぐに身を守る行動をとりにくい



ご自身が備えておくことはもちろんですが、地域ぐるみの温かい支援が必要です。

要配慮者との交流を密にする

日頃から近隣に住む要配慮者とあいさつを交わすなど交流を深めておく。また、プライバシーや本人の意思などに配慮しながら、支援のニーズを聞いておく。

要配慮者の視点で

まちなかを点検する

避難路は車いすで通れるか、障害物がないかなど、要配慮者を安全に避難誘導できるよう、確認する。

要配慮者を把握する

地域において、要配慮者の把握、情報共有等を進めておく。

防災訓練への参加を促す

要配慮者の方に防災訓練に参加してもらおう。その際に、安否確認や避難誘導など、具体的な支援体制を決めておく。

土砂災害等の情報入手方法

心得編

鹿児島県のホームページから土砂災害警戒区域等が確認できます。

土砂災害が起きるおそれのある危険区域や土砂災害が起きた時に被害を受けるおそれのある範囲確認することができます。

鹿児島県のホームページ
(危機管理・防災)



QRコード

<http://www.pref.kagoshima.jp/bosai/index.html>

STEP①
上段【一般・県民の方々】をクリック

STEP②
中段【土砂災害警戒区域等の情報】をクリック

STEP③
【土砂災害警戒区域等マップ】をクリック

STEP④
【同意する】をクリック

お住いの地域の土砂災害警戒区域等をご確認ください。

平常時より、土砂災害のおそれのある箇所を把握して置くことは「自らの命を守る」うえで重要です。

降雨状況等の確認

鹿児島県河川砂防情報システムで、県内各地の降水量、土砂災害危険指標などの情報を確認することができます。※下のQRコードを読み込むことで手軽にアドレスを取得できます。

パソコン版



QRコード

<http://www3.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/>

携帯電話版



QRコード

<http://www3.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/mobile/>

スマートフォン版



QRコード

<http://www3.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/smart/>

一般的な入手方法について

平成19年10月1日から、準備の出来た放送局から順次、テレビ・ラジオにて緊急地震速報を放送しています。

日本放送協会(NHK)では、気象庁が緊急地震速報(警報)を発表した際に、文字や音声などにより放送します。

この放送は、全国のどの地域を対象とした緊急地震速報(警報)であっても、全国すべての地域で放送されます。

テレビやラジオによる放送

NHKのホームページ
(緊急地震速報)



QRコード

<https://www.nhk.or.jp/sonae/bousai/>

大雨、洪水災害について

浸水の目安と心得



浸水深 3.0m 以上のエリア

浸水深 5.0m 以上のエリア

- 2階床面が浸水する2階建て住宅では、避難が遅れると危険な状況に陥るため、住民は避難情報のみならず、出水時の水位情報等にも注意し、必ず避難所等の安全な場所に避難
- 高い建物の住民でも、浸水深が深く、水が退くのに時間を要することが想定されるため、事前に避難所等の安全な場所に避難

浸水深 0.5m ~ 3.0m 未満のエリア

- 平屋住宅または集合住宅 1 階の住民は、1階床上浸水になり、避難が遅れると危険な状況に陥るため、避難情報のみならず、出水時の水位情報等にも注意し、必ず避難所等の安全な場所に避難
- 2階以上に居室を有する住民は、浸水が始まってからの避難は水深0.5mでも非常に危険なため、避難が遅れた場合は、無理をせず自宅2階等に待避、ただし、浸水が長時間継続した場合や孤立した場合の問題点について認識しておくことが必要

浸水深 0.5m 未満のエリア

- 避難が遅れた場合は自宅上層階で待避、ただし、浸水が長時間継続した場合や孤立した場合の問題点について認識しておくことが必要

被害想定

大雨・台風では、どのような災害が起こるのか

7月から10月にかけては日本に接近・上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、暴風、高波、高潮などをもたらします。また、川の氾濫や土石流、がけ崩れ、地すべりなどが発生しやすく、人々の生活や生命が脅かされるような自然災害が度々発生しています。

平成30年7月豪雨の被害状況 (内閣府防災より)

6月28日から7月8日までの総降水量が四国地方で1800ミリ、東海地方で1200ミリを超えるところがあるなど、7月の月降水量平年値の2~4倍となる大雨となったところがあった。また、九州北部、四国、中国、近畿、東海、北海道地方の多くの観測地点で24、48、72時間降水量の値が観測史上第1位となるなど、広い範囲における長時間の記録的な大雨となった。これらの影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生し、死者、行方不明者が多数となる甚大な災害となった。また、全国各地で断水や電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道の運休等の交通障害が発生した。

土砂災害について

土砂災害の前兆

土砂災害が発生するときには、何らかの前兆現象が現われることがあります。下に挙げたものは主な前兆現象です。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大事です。



山鳴りがする。



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。



川の水が濁り、流木が混ざり始める。



斜面から水が噴き出す。



沢や井戸の水が濁る。



地面にひび割れができる。



小石がパラパラ落ちてくる。



覚えておこう！3つのポイント



雨に注意しましょう

1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリの降雨量になったら注意が必要です。



逃げ方を覚えましょう

土石流は速度が速いため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



避難場所を決めておきましょう

日頃から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。

地震災害について

地震対応

地震には予兆がありません。

地震は台風や大雨と違って事前に、いつどこで起こるのか予想することができません。いつどこで起きても地震に備える心と準備が必要です。

自分だけは大丈夫と過信していませんか？過去大きな地震にあった記憶が無い地域であっても、活断層は全国にあり、いつ大地震が起きてもおかしくありません。日本に地震で安全な場所はどこにもないと思っていたほうがいいでしょう。

地震速報

※震度3以上を観測した地域名(全国を188地域に区分)と地震の揺れの検知時刻の情報をお知らせする速報です。

地震発生時の行動

地震発生

まず、身の安全

- ・机の下に入る。
- ・クッション、雑誌などで頭を保護する。
- ・家具から離れる。
- ・ガラス面から離れる。

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まず身を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。

普段から家の中の安全チェックをしましょう。住宅用火災警報器も設置しておきましょう。



2分
〜
5分

大揺れがおさまった

台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。



5分
〜
10分

家族の身の安全を確認、確保

- ・家族の安全の確認、確保
- ・災害情報、避難情報の入手
- ・避難のための出口の確保
- ・ガラス片や転倒家具の注意



10分
〜
半日

隣近所の安否確認、助け合い

- ・倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人の救出
- ・火災発生時の消火活動
- ・けが人の救護



半日
〜
3日

2、3日分は自分でしのご

地震発生後数日間は、水道、ガス、電気、電話等ライフラインをはじめ、食糧の供給が途絶えます。

2〜3日は自分でしのごるよう、生活必需品(非常用品)を備えておきましょう。

津波、高潮災害について

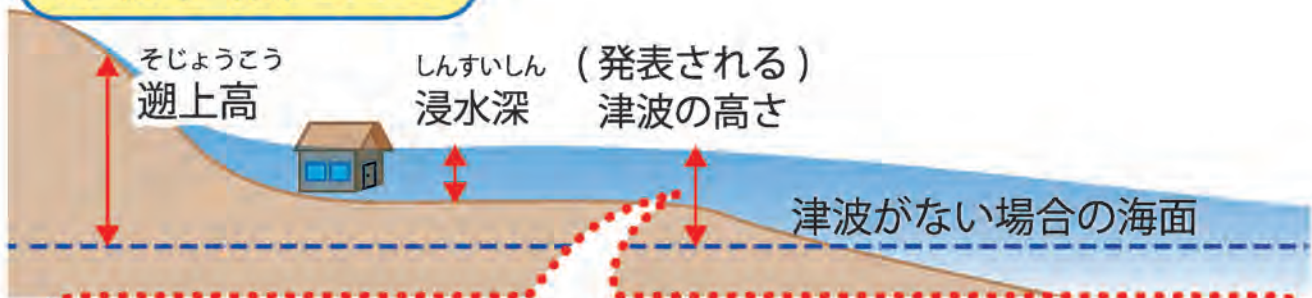
津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10 m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10 m (5m<予想高さ≤10m)		
		5 m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3 m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1 m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

津波警報・注意報と避難のポイント

- ・ 震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・ 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・ 津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・ 津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

津波予報区とは



地震が起きて津波のおそれがある場合は、予想される津波の高さにより、「津波注意報」、「津波警報」、「大津波警報」が津波予報区ごとに発表されます。

なお、発表される「津波の高さ」は、海岸付近での海面の高さのため、場所によってはこれよりも数倍高くなる場合があります。

また、満潮時や大潮の時も注意が必要です。

風水害・地震について

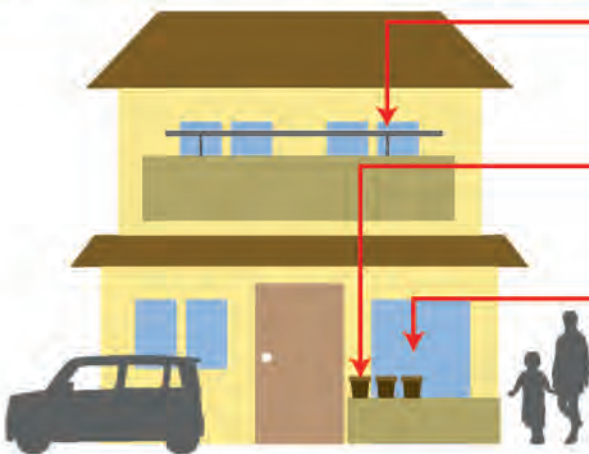
強風前に自宅の中へ

庭に置いてある植木鉢・置物やベランダにある物干し竿は、強風によって飛ばされ、歩行者にけがをさせてしまうおそれがあります。強風・暴風が予想される場合は、飛ばされてしまいそうなモノは自宅の中に入れるか、柱などにロープやチェーンなどで繋いで固定しましょう。雨戸がない窓には、万が一、ガラスが割れた場合に備え、飛散防止フィルムを貼り、カーテンを閉めておきましょう。

また、暴風時は飛ばされたモノにより、けがをするおそれがあるので、なるべく外出は控えましょう。外出しているときに暴風が吹いた場合は、近くの建物の中に避難し、窓から離れた場所にいるようにしましょう。

強風・暴風前の備え

気象情報の確認を忘れずに!!



❗ 物干し竿

飛ばされないようにおろしておく

❗ 植木鉢

飛ばされないように家の中に入れる

❗ 雨戸のない窓

カーテンを閉めたり、飛散防止フィルムを貼る

地震の備え



■ 家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておきましょう。

けがの防止や避難に支障のないように家具を配置しておきましょう。家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておきましょう。



■ けがの防止対策をしておきましょう。

食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておきましょう。停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておきましょう。散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておきましょう。



■ 家屋や塀の強度を確認しておきましょう。

家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておきましょう。ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないよう補強しておきましょう。

持出し品について

備蓄 最低限揃えておきたいもの



懐中電灯

できれば一人にひとつ用意。
予備の電池と電球も忘れずに。



非常食・水

缶詰など、火を通さずにたべられるものを。乳幼児がいる場合には粉ミルクなど。



携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるものを用意。予備の電池は多めに。



救急薬品 常備薬

キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など。常備薬があれば忘れずに。



貴重品

現金、預金通帳、印鑑、免許証、健康保険証など。現金は硬貨も便利。



その他

ヘルメット（防災ずきん）、衣類、ライター（マッチ）、ナイフ、ビニール袋、紙おむつやほ乳びんなど。

非常食 二次持ち出し品

災害復旧までの数日間自活するために用意するもの

非常食

缶詰やレトルト食品、ドライフーズや栄養補助食品、チョコレート・アメなどの菓子類、調味料など。

飲料水

一人当たり、1日3リットルが目安。缶入りやペットボトルのミネラルウォーターのほか、ポリ容器にも水をためておく。

ポイント その他の持ち出し品

卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベのほか、毛布、寝袋、洗面用具、ラップ、使い捨てカイロ、ロープ、バール・スコップなどの工具、マスク、トイレトーパー、新聞紙、簡易トイレ、予備のめがね、バイク・自転車、ドライシャンプーなど。

必要な防災グッズは必ず揃えてバッグの中にしまっただけで持ち出せる状態にしておくことが大切です。避難する時は一分一秒を争っている状態なので、押し入れの中や棚を探している暇はありません。揃えた防災グッズは、玄関などのすぐに取り出せる場所に置いておくことが一番重要です。



最低でも3日分、できれば1週間分を目安に備蓄を行いましょう。



非常に広い地域に甚大な被害が及ぶ大災害の場合、食糧などの支援物資がすぐに届かないおそれがあります。そのため、ご家庭で非常食などを備えておく事も大切です。

避難について

令和3年5月20日から

警戒レベル

4

避難指示で必ず避難

避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待つてはいけません！**

**避難勧告は廃止されます。**  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。**

避難に時間のかかる  
**高齢者や障害のある人は、  
警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。**

# AEDの使用方法・心肺蘇生法

## ①反応の確認

声をかけ反応をみる

- 「反応がない」
- 「うめき声」
- 「名前・年齢が言えない」
- 基本は平常時との違いに気づくこと!



## ②呼吸の確認

胸や腹部の動きを確認

- 呼吸がなければ胸骨圧迫
- 目で胸や腹部が動くかを見る。



## ③胸骨圧迫 (心臓マッサージ)

胸の真ん中を押す(30回)

1分間に100~120回のリズム

手掌基部で  
圧迫部位を押す



## ④人工呼吸

(人工呼吸をすることが困難な場合は省略してもかまいません。)

鼻をつまんで、口にかかるく息を 1回1秒かけて2回吹き込みます。

- ※人工呼吸は、たくさん吹き込む必要はありません。
- ※直接口に触れないための感染防護具がある場合は使用しましょう。



①

②

③

AEDはこのよう  
な人に使用しまし  
ょう  
**! 反応が無い**  
**! 呼吸が無い**

AEDの電源を入れる  
フタを開けると  
自動的に電源が入  
る機種もあります。  
(メッセージが流れ  
実施すべきことを  
指示してくれます)

電極/パッドを直接胸部に  
貼り付ける  
汗・水などで濡れ  
ている場合は、パ  
ッドを貼る部分を  
拭いてください。

④

⑤

AEDが自動的に心電図を  
解析  
AEDが自動的に  
患者の心電図を  
解析します。  
解析中患者に触れない



ショックの必要あり  
ショックの必要なし

誰も触れていないことを確認  
ショックボタンを押す  
ショックボタンを押した後、  
メッセージに従いすぐに  
心肺蘇生法をスタート  
します。



胸骨圧迫を行い心肺蘇生をスタートします

(以後、2分ごとにAEDは自動的に心電図を解析しますのでメッセージに従ってください。)

## 出血 (止血法)

①傷口を圧迫する(圧迫止血)

出血している部分にガーゼやタオルを当て、その上から手のひらで圧迫する。また、感染を防ぐため、できる限り、ビニール袋を使用するのが望ましい。



②傷口を心臓より高くする

## 骨折 (固定法)

①動かさないようにして、傷や出血の手当てをする

②患部を固定する

副木を当て、骨折した部分の上と下の関節を固定して、骨折したところが動かないようにする。手近で代用できるものを使う。



③安静にして、早めに医療機関へ

## 応急手当講習会

グループや団体を対象に、心肺蘇生法、AEDの使用法等の講習会を行っています。

講習は無料です。詳しくは消防本部警防課にお問い合わせ下さい。

消防本部 警防課  
(0993-72-0049)

# 自主防災について 活動内容

## ～自分たちの地域は自分たちで守る!～

平常時と災害時における自主防災組織の役割としては、次のようなことが考えられます。いざというときに組織力を発揮できるよう、平常時からみんなで協力し合いながら防災活動に取り組みましょう。

### 平常時の活動

#### □ 地域内の防災点検

災害発生時に、地域内に被害の拡大につながる要素はないか、また、避難行動要支援者がいないかなど確認を行う。

#### □ 防災訓練の実施

負傷者の応急手当て、救護所への搬送など災害を想定した防災訓練(避難訓練、図上訓練、消火器の使用方法や応急手当訓練など)を実施する。

#### □ 防災知識の普及

防災ガイドブックの作成など、住民一人ひとりの防災意識の高揚を図る。

#### □ 防災資機材の整備

災害発生時に必要とされる資機材を、地域の実情に応じて準備し、定期的に点検や使用方法の確認を行う。



### 災害時の活動

#### □ 情報の収集・伝達

自治体などと連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を住民に伝達する。

#### □ 初期消火活動

出火防止のための活動や消火器、消防水利の確保、バケツルーなどによる初期消火活動など

#### □ 救出活動

負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助活動など

#### □ 医療救護活動

負傷者の応急手当て、救護所への搬送など



### 要配慮者を災害から守る

平成 25 年 6 月に災害対策基本法が改正され、これまでの「災害時要援護者」を「要配慮者」とし、要配慮者のうち、自ら避難することが困難で特に支援を要する方を「避難行動要支援者」と言います。

#### □ 要配慮者との交流を密にする

日頃から近隣に住む要配慮者とあいさつを交わすなど交流を深めておく。また、プライバシーや本人の意思などに配慮しながら、支援のニーズを聞いておく。

#### □ 要配慮者を把握する

「避難行動要支援者名簿」等を参考に、要配慮者の把握、共有等を進めておく。

#### □ 要配慮者の視点でまちなかを点検する

避難路は車いすで通れるか、障害物がないかなど、要配慮者を安全に避難誘導できるよう、確認する。

#### □ 防災訓練への参加を促す

要配慮者の方に防災訓練に参加してもらう。その際に、安否確認や避難誘導など、具体的な支援体制を決めておく。

※要配慮者とは、高齢者・障がい者・乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方を指しています。





# 家族の防災会議について

## ～家の人と話し合いましょう～

災害が起きた時のために、家族で話し合っておきましょう。いざという時「自分の役目」「避難場所」「連絡方法」を普段からしっかり確認しておくことが大切です。

### ※家族等の役割分担

-----  
-----  
-----  
-----

### ※家の近所の避難場所

-----  
-----  
-----  
-----

### ※家族がはなればなれになった時の連絡方法

-----  
-----  
-----  
-----

### ※非常持ち出し品の置き場所

-----  
-----  
-----  
-----

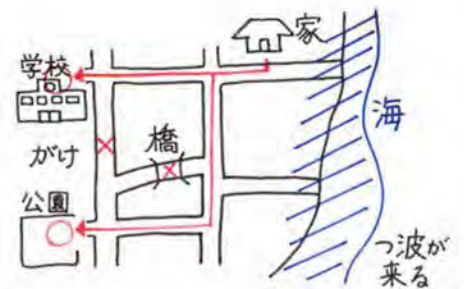
## ～避難場所を調べよう～

危険な場所と、避難場所を調べよう

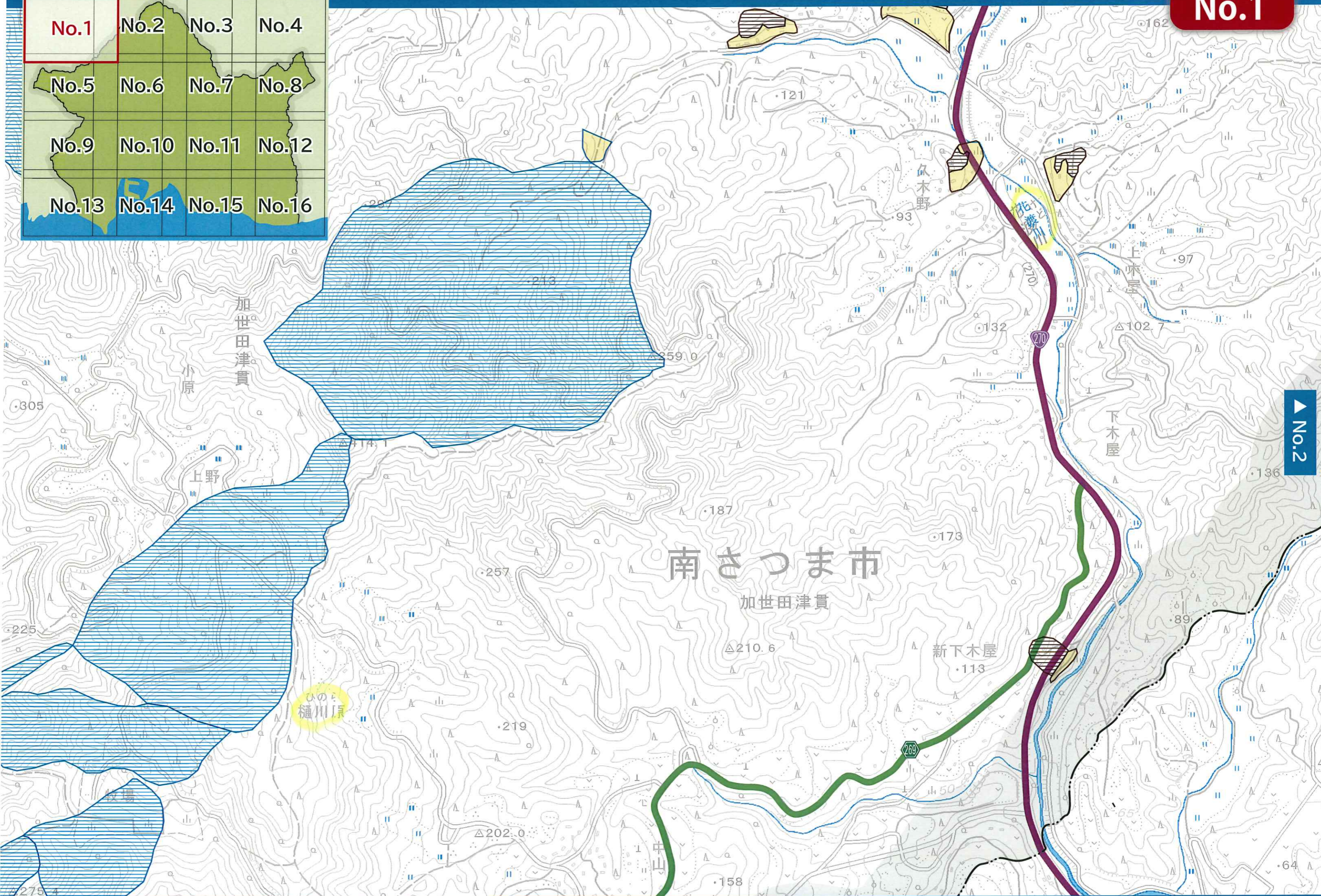
※学校から家までの帰り道を書いたり、地図をはったりして、安全な場所には○、危険な場所には×をつけましょう。家族といっしょに、話し合いながら書いてみましょう。また、避難場所への安全な道にも印をつけましょう。

- 避難する場所
- × 危険な場所
- 通る道

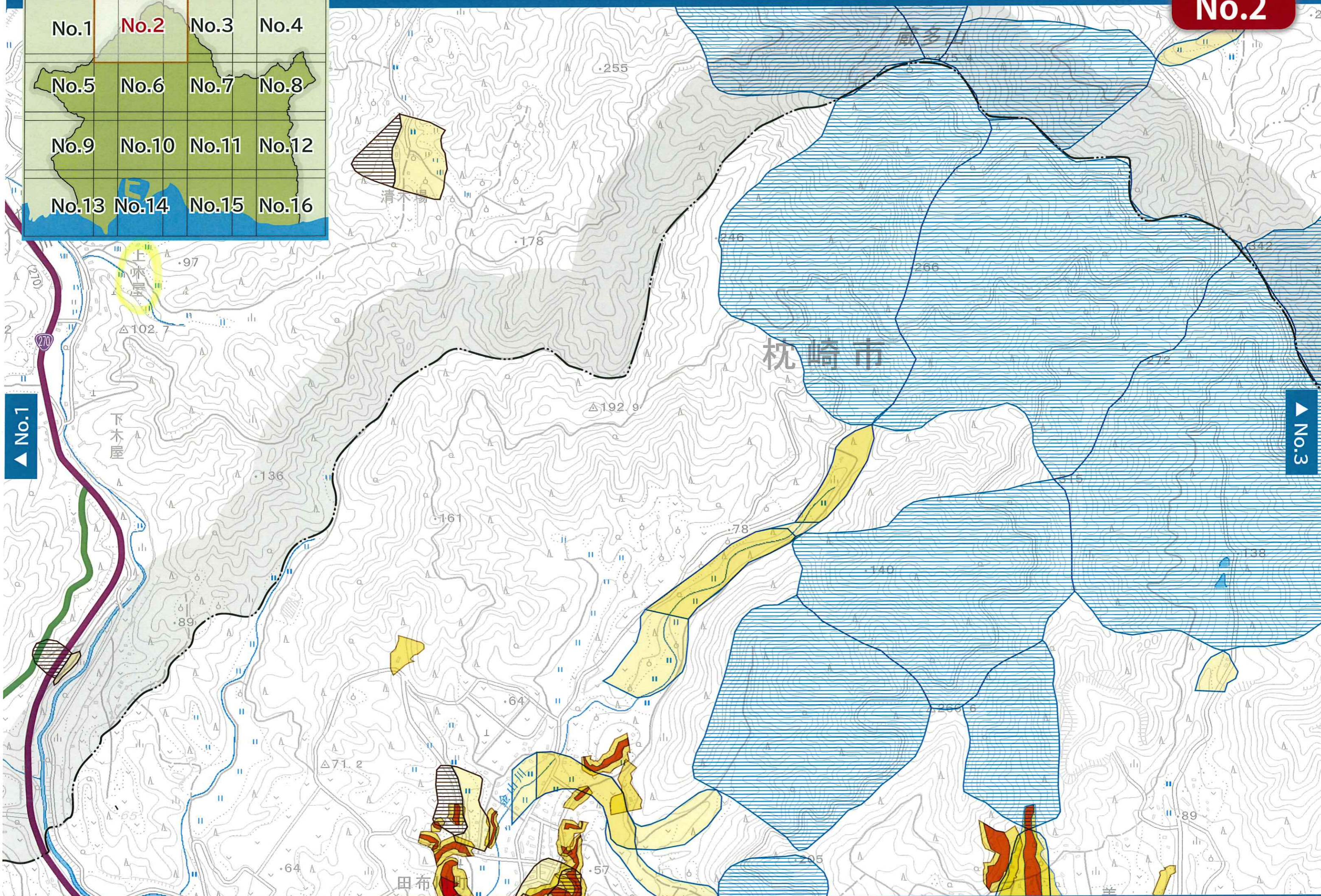
★見本



No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16



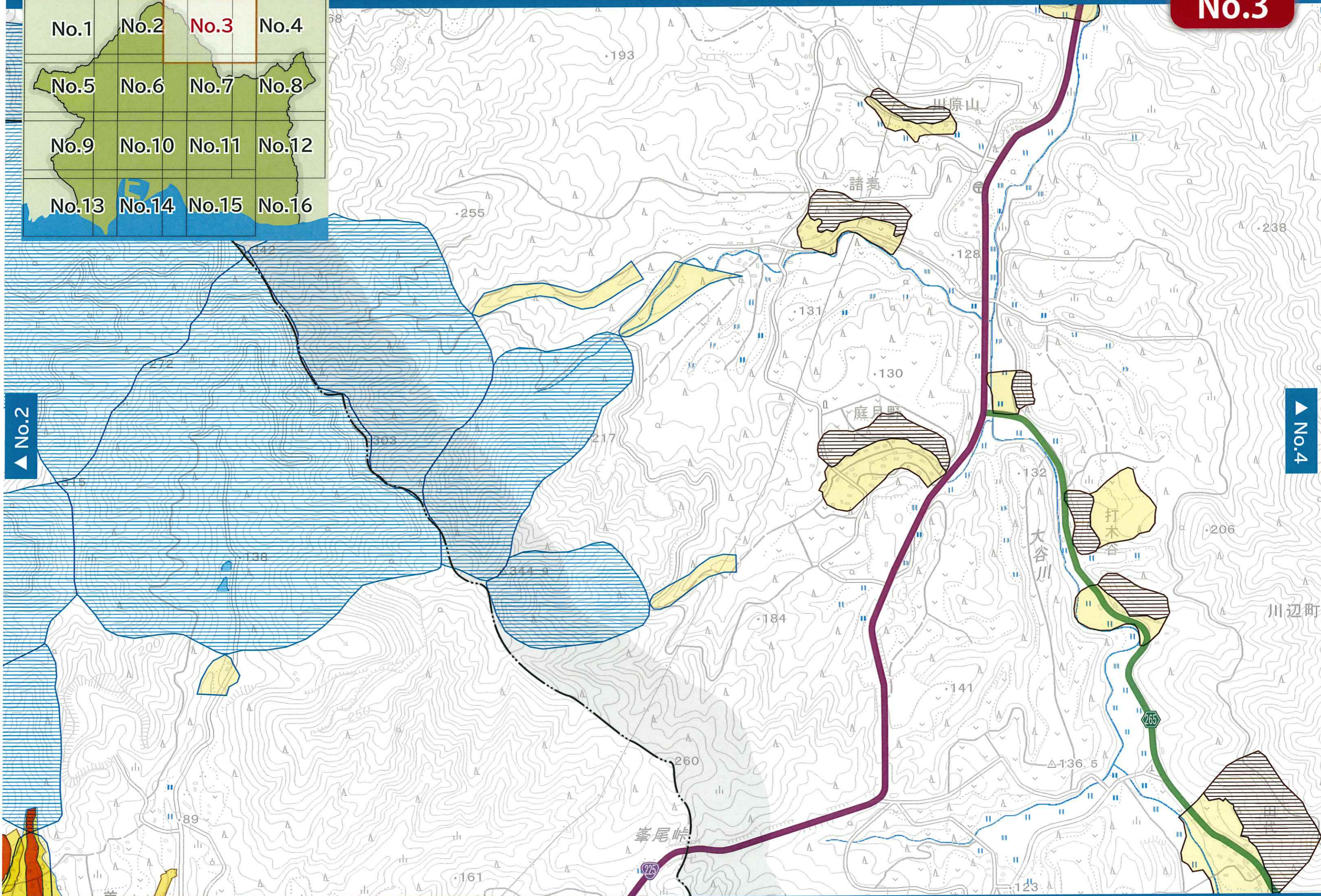
No.1	<b>No.2</b>	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16



▲ No.1

▼ No.3

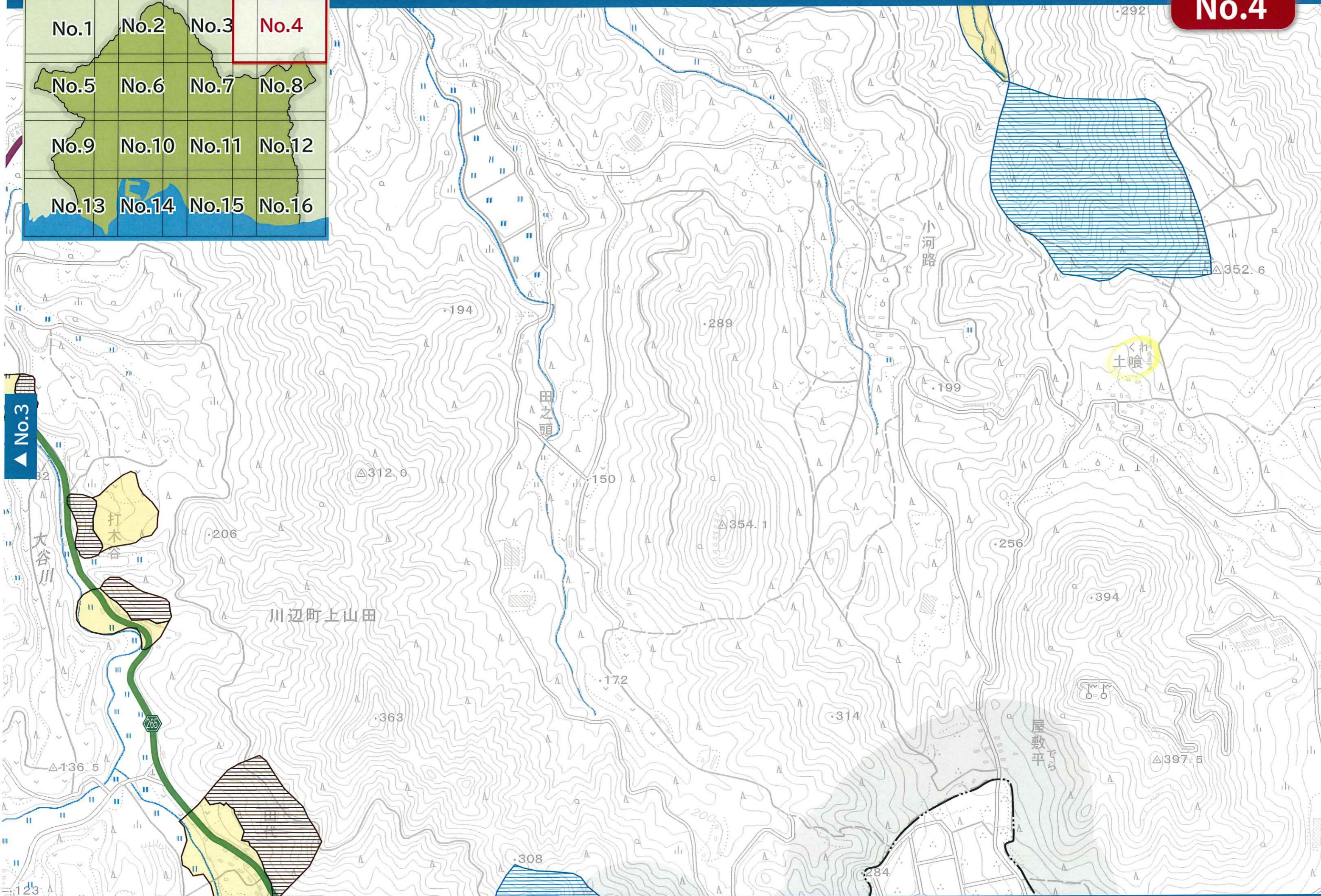
No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16



▲ No.2

▼ No.4

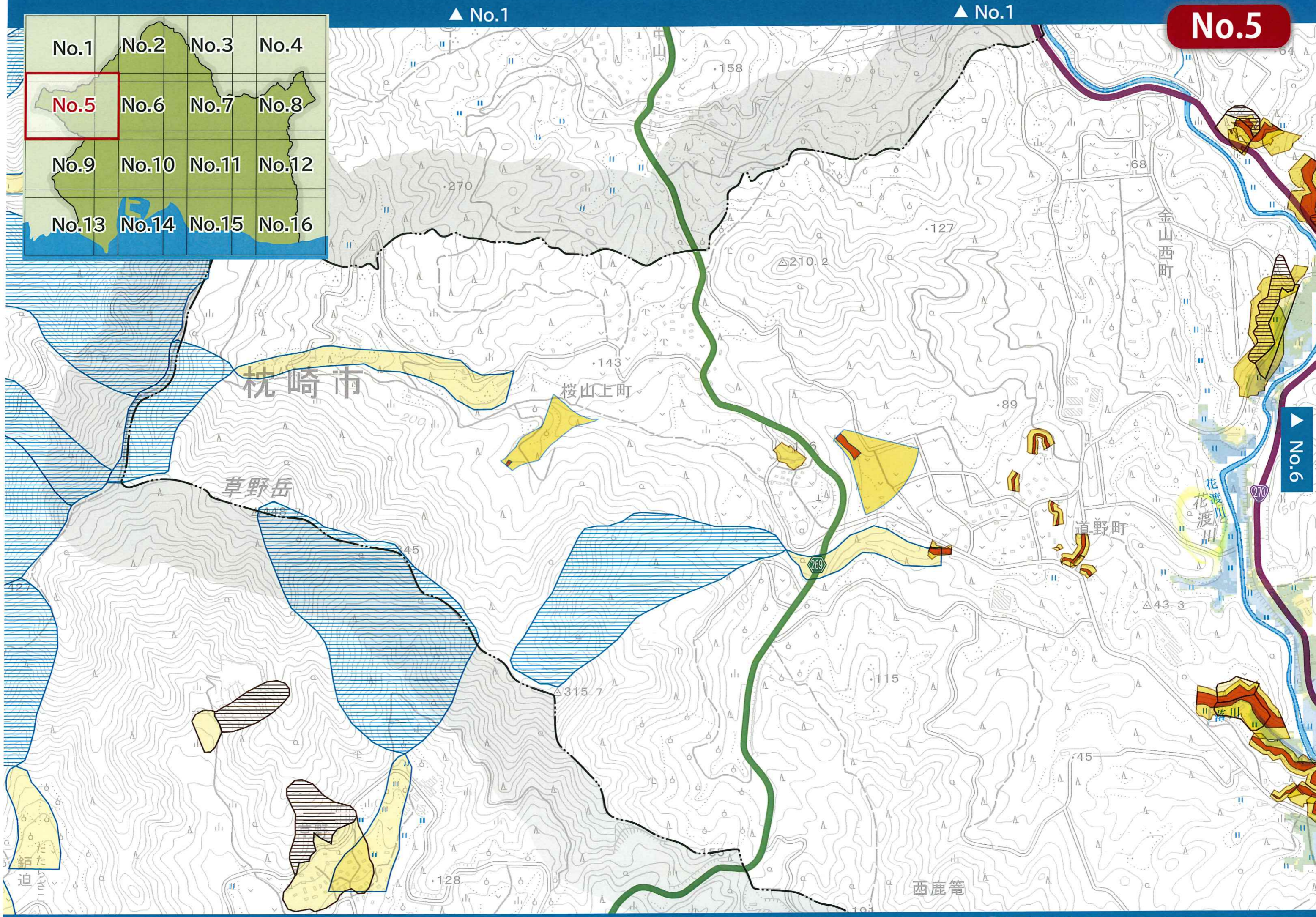
No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16



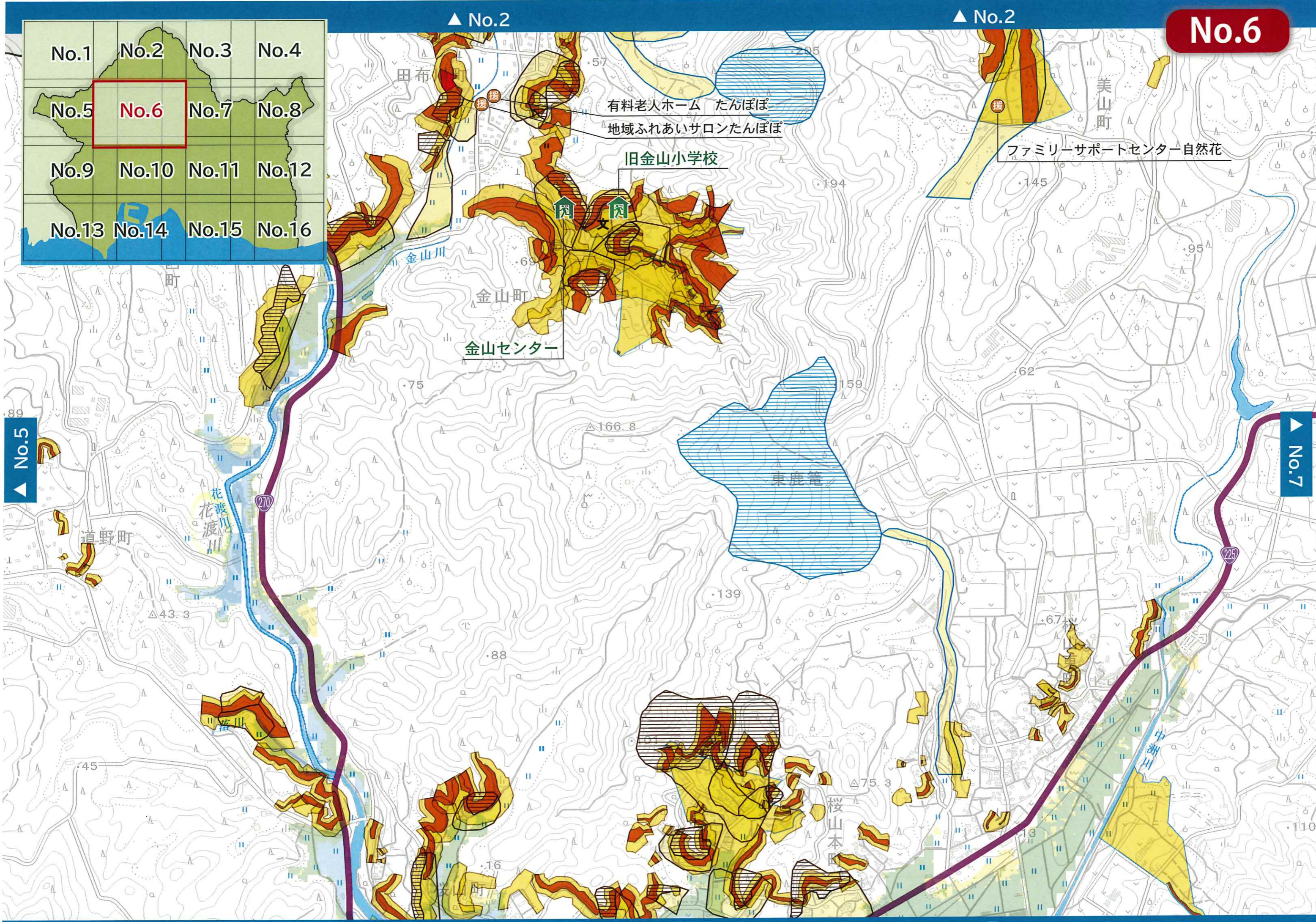
▲ No.3

No.1	No.2	No.3	No.4
<b>No.5</b>	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16

**No.5**



No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16

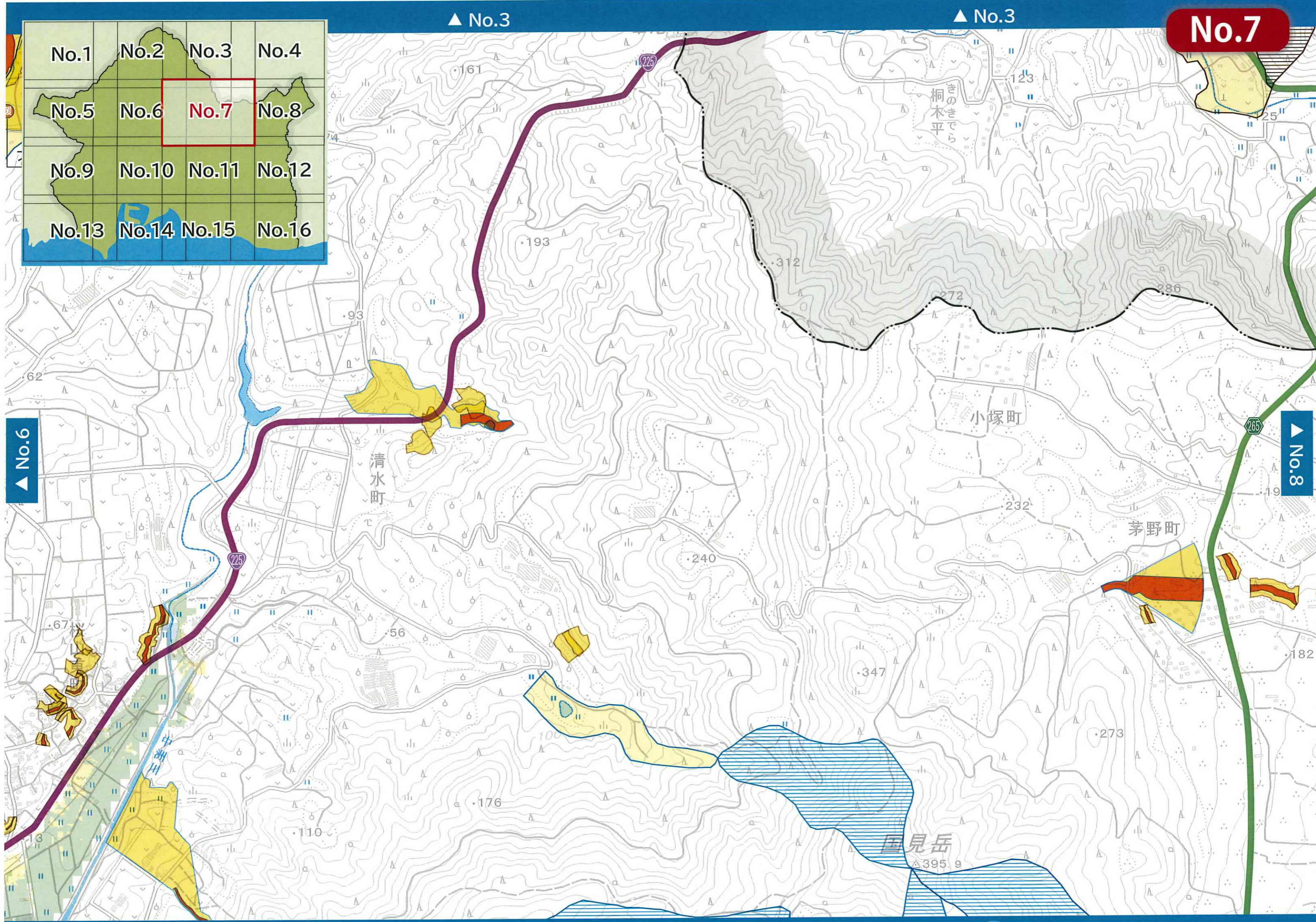


▲ No.5

▼ No.7

No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	<b>No.7</b>	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16

**No.7**



▲ No.6

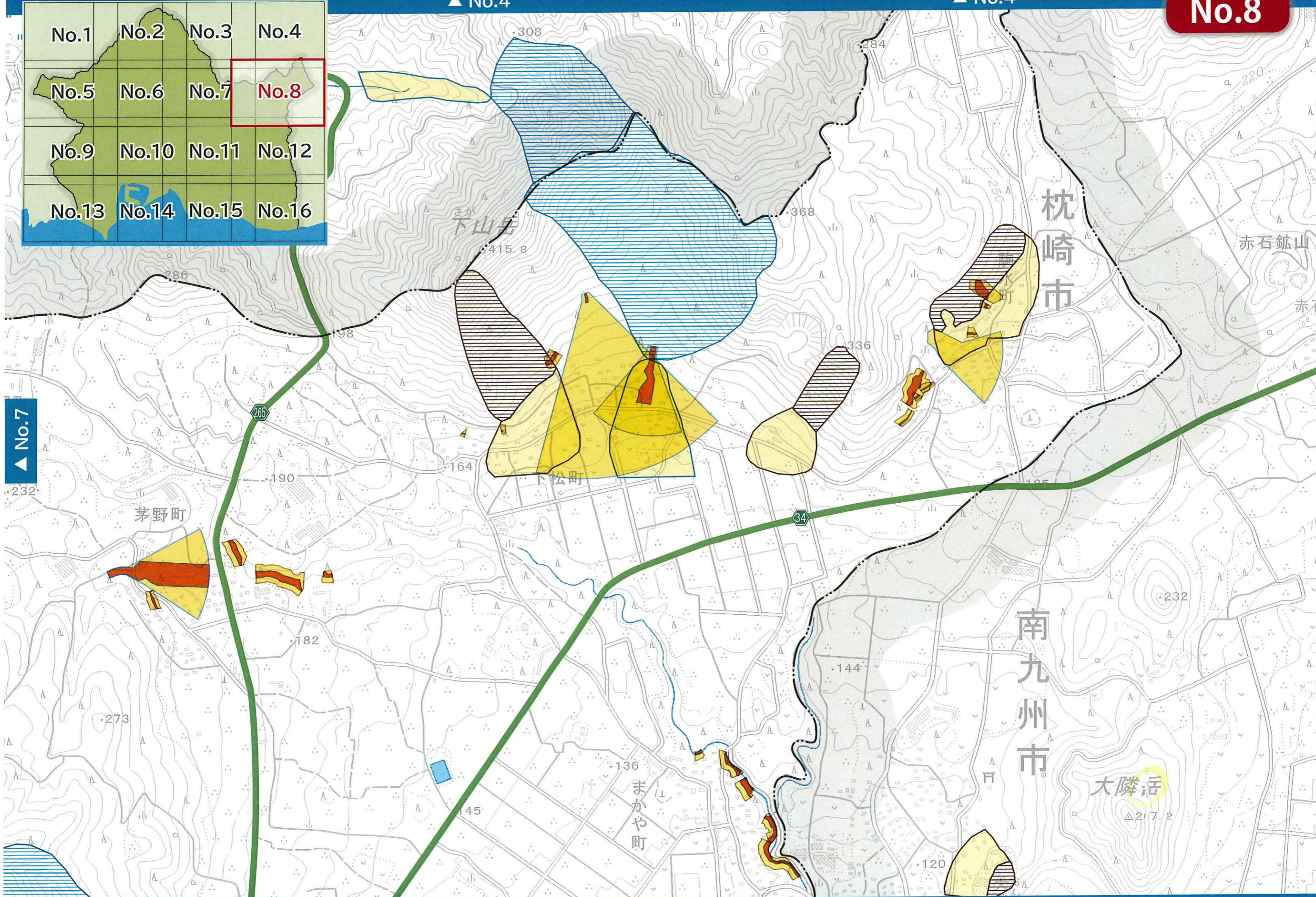
▼ No.8

37 No.11 ▼

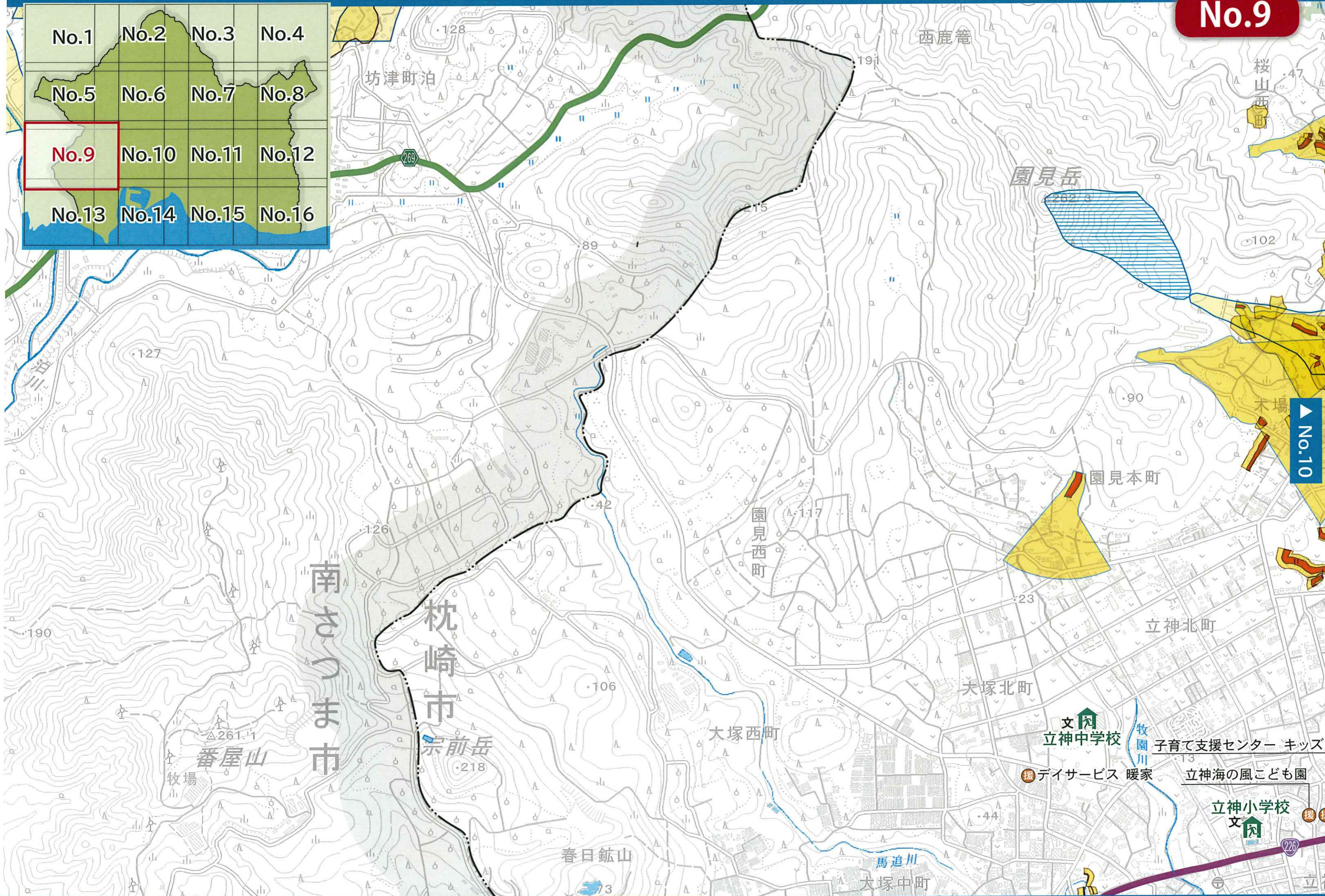
38 No.11 ▼



No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	<b>No.8</b>
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16



No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
<b>No.9</b>	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16



南さつま市

枕崎市

番屋山

宗前岳

春日鉦山

西鹿籠

園見岳

桜山西町

▼ No.10

園見本町

立神北町

大塚北町

立神中学校

子育て支援センター キッズ

デイサービス 暖家

立神海の風こども園

立神小学校



※土砂災害警戒区域等については、令和2年2月29日現在

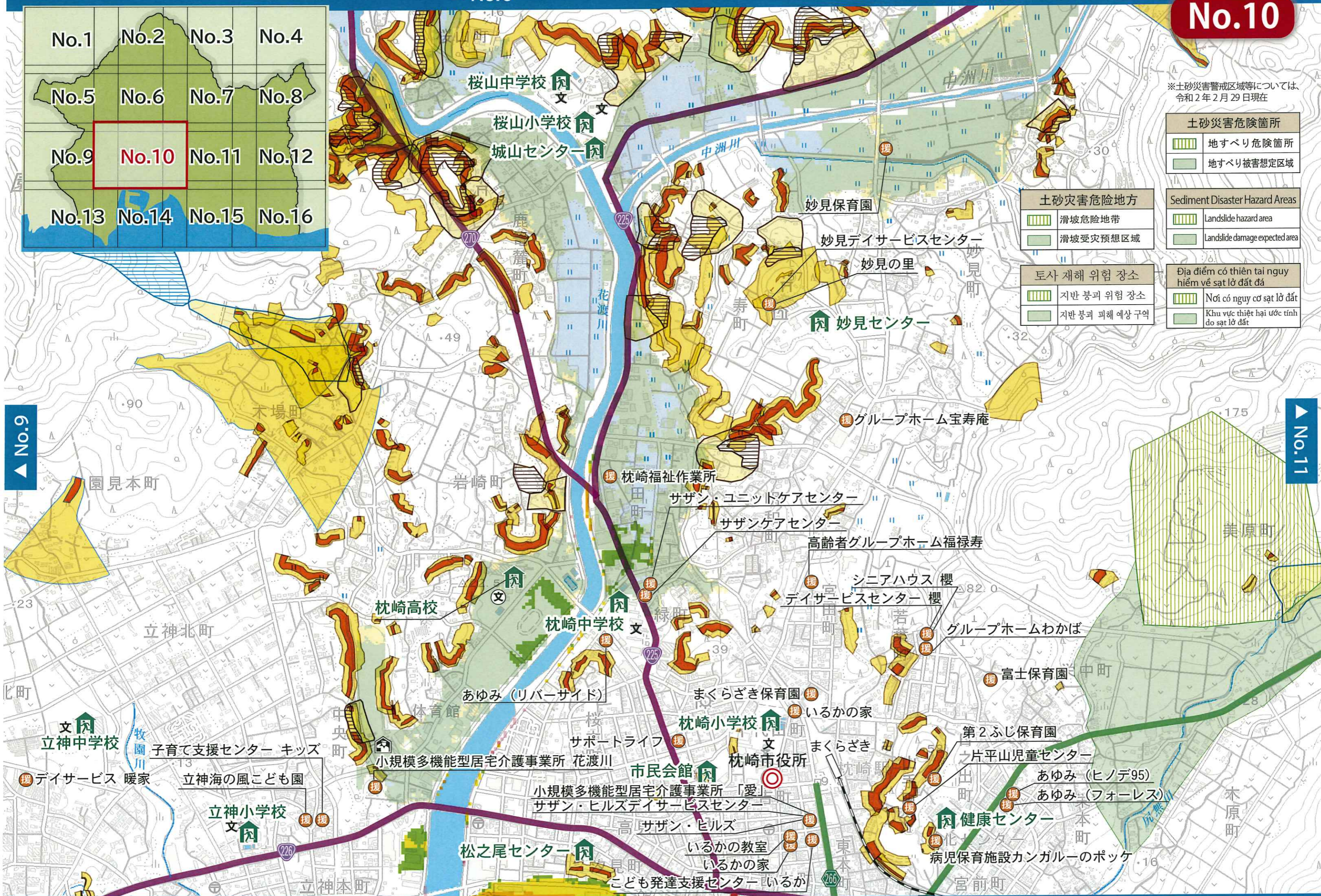
土砂災害危険箇所	
	地すべり危険箇所
	地すべり被害想定区域

土砂災害危険地方	
	滑坡危険地帯
	滑坡受灾予想区域

Sediment Disaster Hazard Areas	
	Landslide hazard area
	Landslide damage expected area

토사 재해 위험 장소	
	지반 붕괴 위험 장소
	지반 붕괴 피해 예상 구역

Địa điểm có thiên tai nguy hiểm về sạt lở đất đá	
	Nơi có nguy cơ sạt lở đất
	Khu vực thiệt hại ước tính do sạt lở đất





※土砂災害警戒区域等については、令和2年2月29日現在

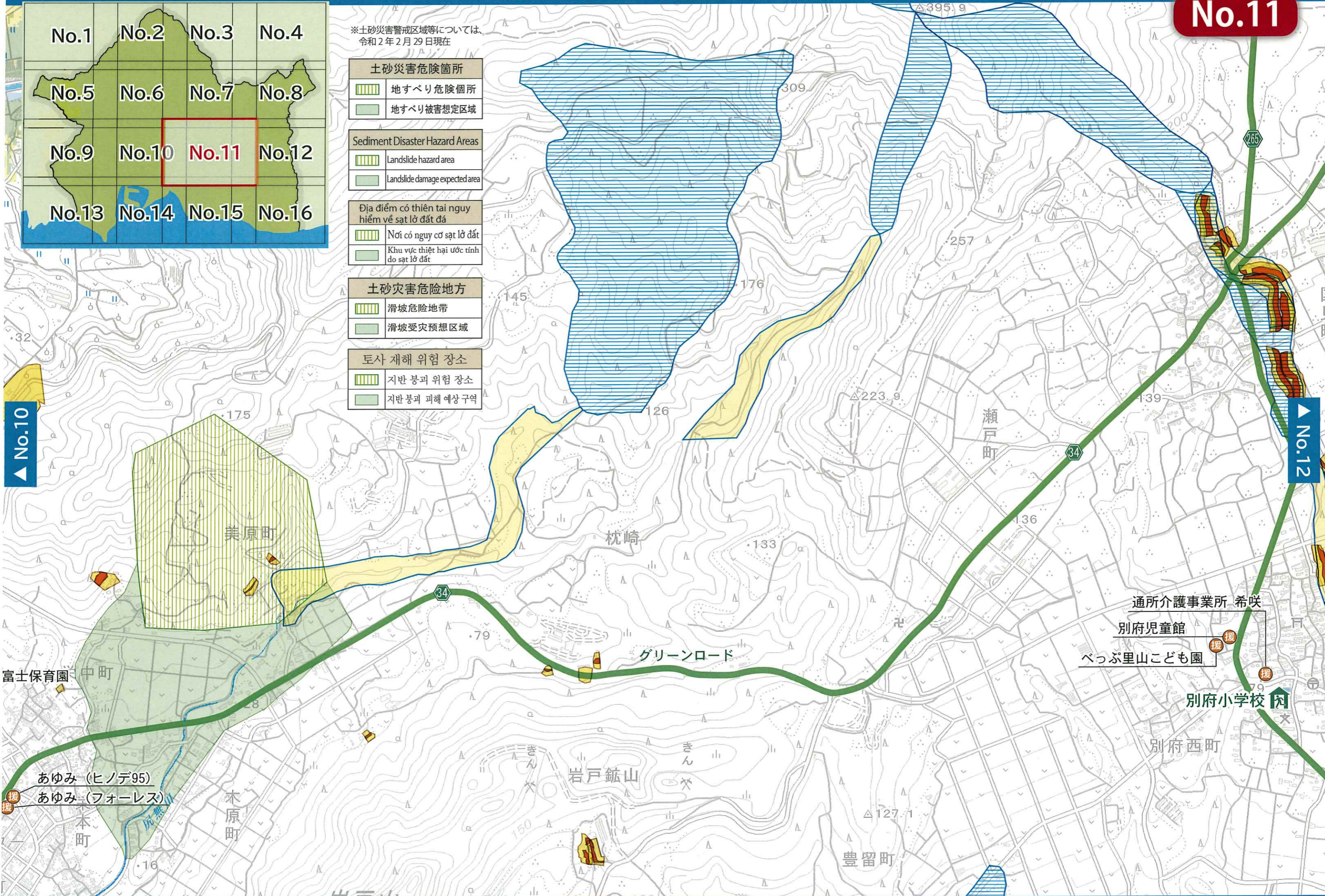
土砂災害危険箇所	
	地すべり危険箇所
	地すべり被害想定区域

Sediment Disaster Hazard Areas	
	Landslide hazard area
	Landslide damage expected area

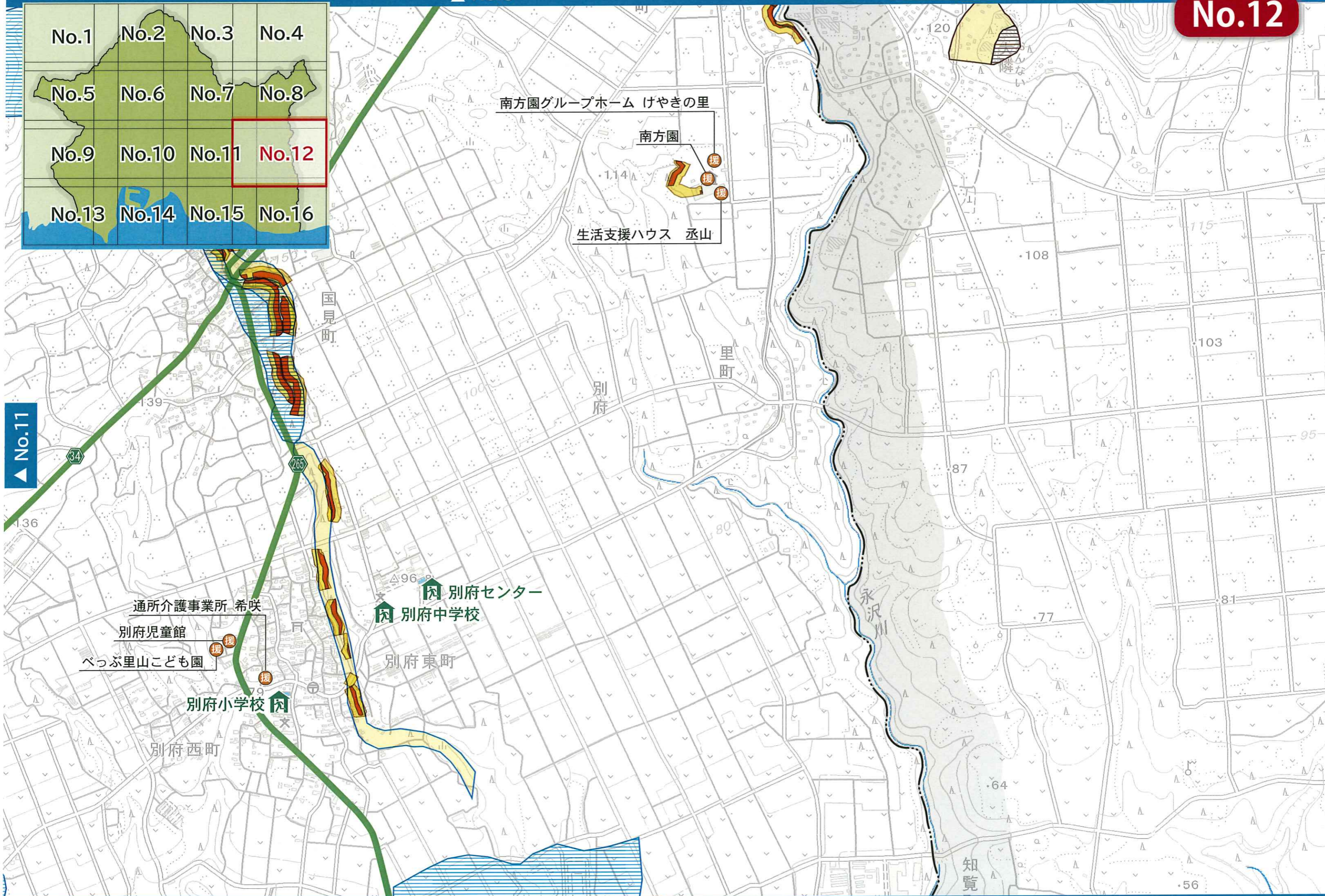
Địa điểm có thiên tai nguy hiểm về sạt lở đất đá	
	Nơi có nguy cơ sạt lở đất
	Khu vực thiệt hại ước tính do sạt lở đất

土砂災害危険地方	
	滑坡危険地帯
	滑坡受灾予想区域

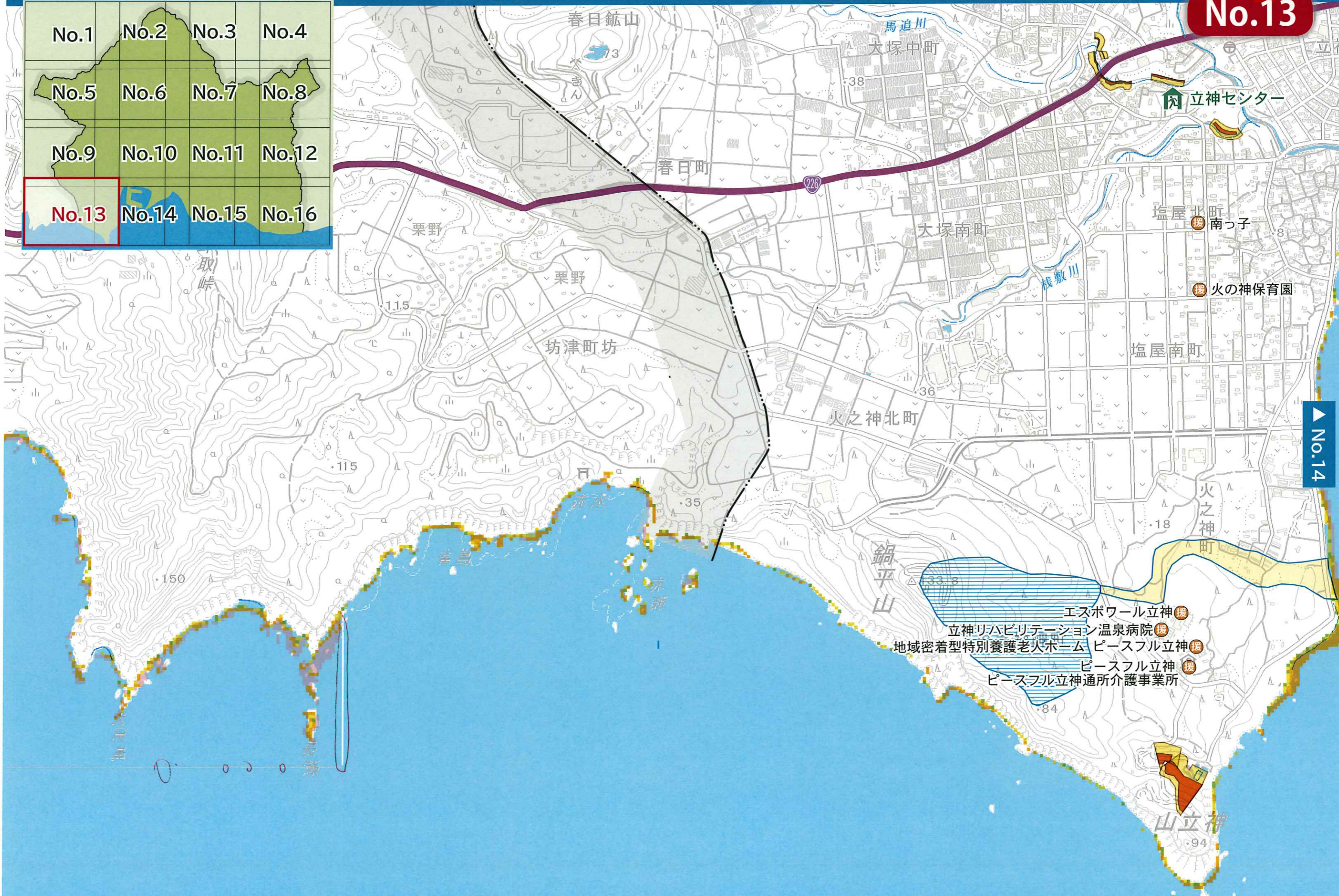
토사 재해 위험 장소	
	지반 붕괴 위험 장소
	지반 붕괴 피해 예상 구역



No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	<b>No.12</b>
No.13	No.14	No.15	No.16



No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
<b>No.13</b>	No.14	No.15	No.16



No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16

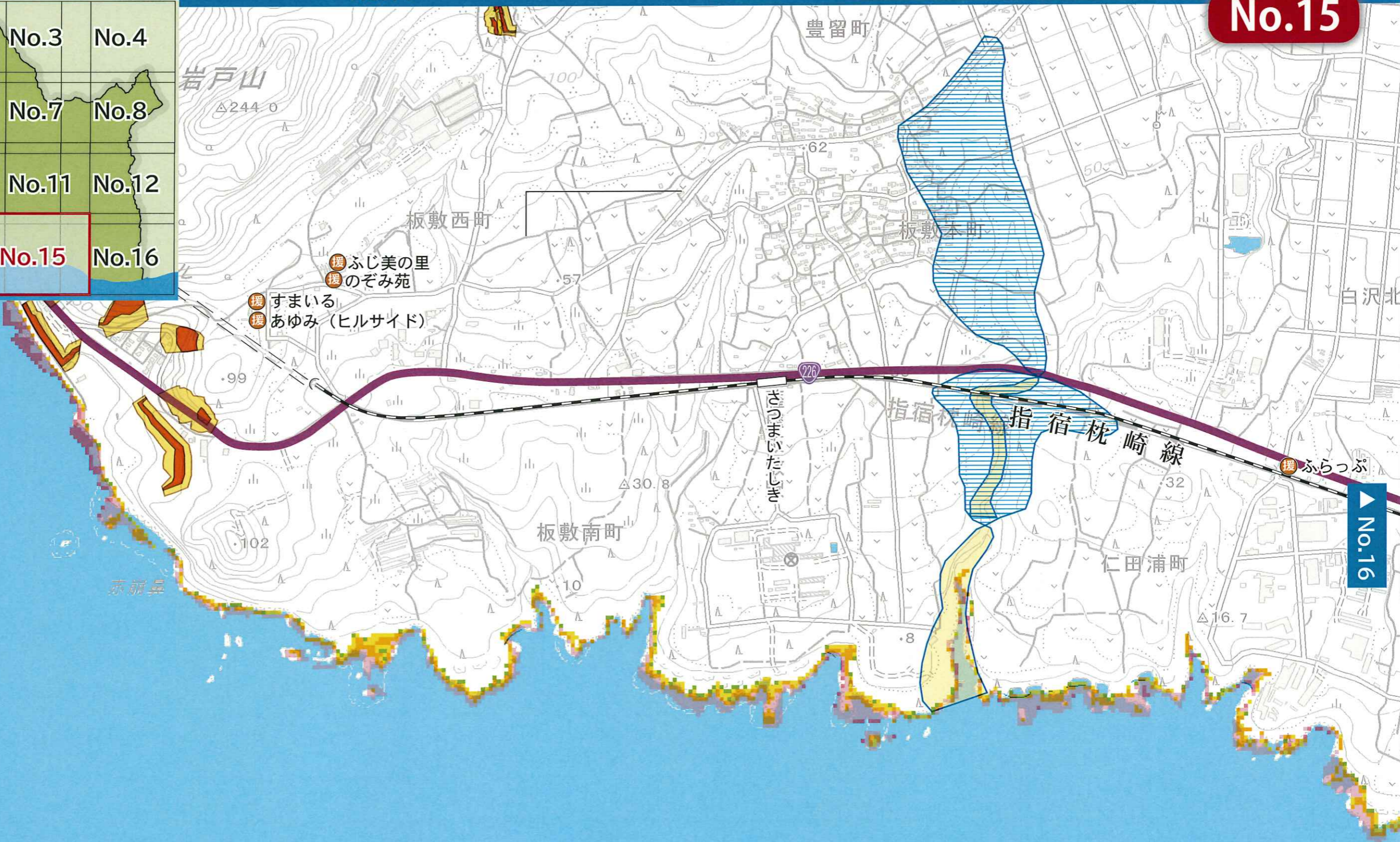


▲ No.13

▲ No.15

- 援 エスポワール立神
- 援 立神リハビリテーション温泉病院
- 援 地域密着型特別養護老人ホーム ピースフル立神
- 援 ピースフル立神
- 援 ピースフル立神通所介護事業所

No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16





No.1	No.2	No.3	No.4
No.5	No.6	No.7	No.8
No.9	No.10	No.11	No.12
No.13	No.14	No.15	No.16



# 緊急時のテレホンガイド

警察は  
**110番**

火事・救急は  
**119番**

海上事故は  
**118番**

鹿児島県 枕崎警察署

鹿児島県枕崎市中央町 189

TEL : 0993-72-0110

枕崎警察署 中央交番

鹿児島県枕崎市中町 3

TEL : 0993-72-2239

枕崎市消防本部

鹿児島県枕崎市立神本町 346

TEL : 0993-72-0049

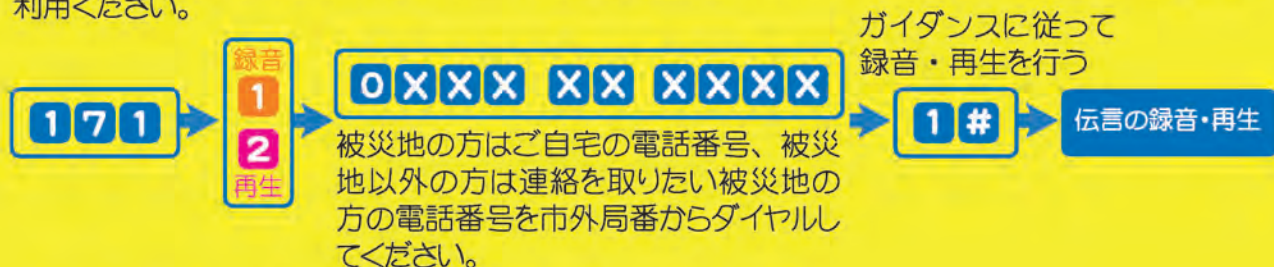
鹿児島海上保安部

鹿児島県鹿児島市浜町 2-5-1

TEL : 099-222-6680

## 災害用伝言ダイヤル 171

災害発生時には、回線の混雑等により家族や知人の安否を確認することが難しくなります。NTTでは、この問題を解決するために、「災害専用伝言ダイヤル(171)」のサービスを提供しますので利用ください。



### 【伝言の録音・再生時に通話料がかかります。】

なお、提供の開始、登録できる電話番号(被災地電話番号)など、運用方法、提供条件については、状況に応じてNTTが設定し、テレビ・ラジオ・インターネット等を通じて知らせます。



ほん ぞん ほん  
保存版



鹿児島県 枕崎市  
Makurazaki City

枕崎市役所 総務課 危機管理対策係

〒898-8501

鹿児島県枕崎市千代田町 27 番地

枕崎市ホームページ

<https://www.city.makurazaki.lg.jp/>



QRコード

TEL 0993-72-1111 (代表) FAX 0993-72-9436

# 災害避難カード（おもて）

※避難時は、このカードを持って行きましょう。

## 災害避難カード「わたしの情報」

ふりがな <b>名前</b>	
<b>性別</b> 男 / 女	<b>血液型</b>
生年月日	
住所	

折り線

## 避難時は、このカードを持って行く！

<b>電話番号</b>	携帯 自宅
<b>持病</b> 飲んでいる薬など	

## 災害避難カード「わたしの情報」

ふりがな <b>名前</b>	
<b>性別</b> 男 / 女	<b>血液型</b>
生年月日	
住所	

折り線

## 避難時は、このカードを持って行く！

<b>電話番号</b>	携帯 自宅
<b>持病</b> 飲んでいる薬など	

## 災害避難カード「わたしの情報」

ふりがな <b>名前</b>	
<b>性別</b> 男 / 女	<b>血液型</b>
生年月日	
住所	

折り線

## 避難時は、このカードを持って行く！

<b>電話番号</b>	携帯 自宅
<b>持病</b> 飲んでいる薬など	

## 災害避難カード「わたしの情報」

ふりがな <b>名前</b>	
<b>性別</b> 男 / 女	<b>血液型</b>
生年月日	
住所	

折り線

## 避難時は、このカードを持って行く！

<b>電話番号</b>	携帯 自宅
<b>持病</b> 飲んでいる薬など	

## 災害避難カード「わたしの情報」

ふりがな <b>名前</b>	
<b>性別</b> 男 / 女	<b>血液型</b>
生年月日	
住所	

折り線

## 避難時は、このカードを持って行く！

<b>電話番号</b>	携帯 自宅
<b>持病</b> 飲んでいる薬など	

# 災害避難カード(うら)



※切り取って一人1枚使用しましょう。

家族(頼りになる人)の緊急連絡先	
ふりがな 名前	連絡先 職場住所・電話番号等

折り線

電話が繋がらないときは  
災害用伝言ダイヤル

**171**  
音声説明あり

自分の居場所を伝える  
**録音「1」**

家族の居場所を調べる  
**再生「2」**

家族(頼りになる人)の緊急連絡先	
ふりがな 名前	連絡先 職場住所・電話番号等

折り線

電話が繋がらないときは  
災害用伝言ダイヤル

**171**  
音声説明あり

自分の居場所を伝える  
**録音「1」**

家族の居場所を調べる  
**再生「2」**

家族(頼りになる人)の緊急連絡先	
ふりがな 名前	連絡先 職場住所・電話番号等

折り線

電話が繋がらないときは  
災害用伝言ダイヤル

**171**  
音声説明あり

自分の居場所を伝える  
**録音「1」**

家族の居場所を調べる  
**再生「2」**

家族(頼りになる人)の緊急連絡先	
ふりがな 名前	連絡先 職場住所・電話番号等

折り線

電話が繋がらないときは  
災害用伝言ダイヤル

**171**  
音声説明あり

自分の居場所を伝える  
**録音「1」**

家族の居場所を調べる  
**再生「2」**

家族(頼りになる人)の緊急連絡先	
ふりがな 名前	連絡先 職場住所・電話番号等

折り線

電話が繋がらないときは  
災害用伝言ダイヤル

**171**  
音声説明あり

自分の居場所を伝える  
**録音「1」**

家族の居場所を調べる  
**再生「2」**